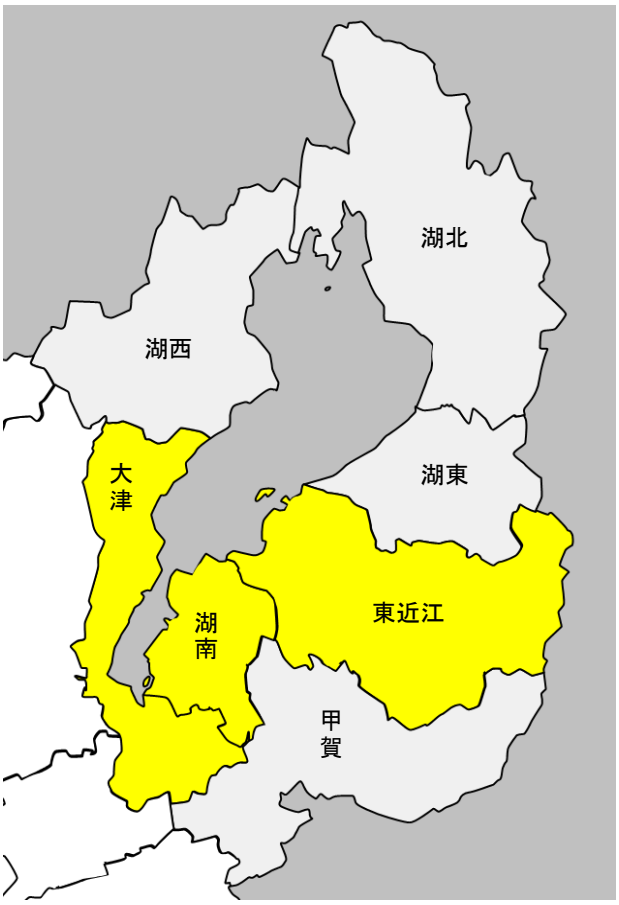
25. 滋賀県



年間「0-2999件」の全身麻酔が圏内で行われている二次医療圏

年間「3000-9999件」の全身麻酔が圏内で行われている二次医療圏

年間「10000件以上」の全身麻酔が圏内で行われている二次医療圏

目次

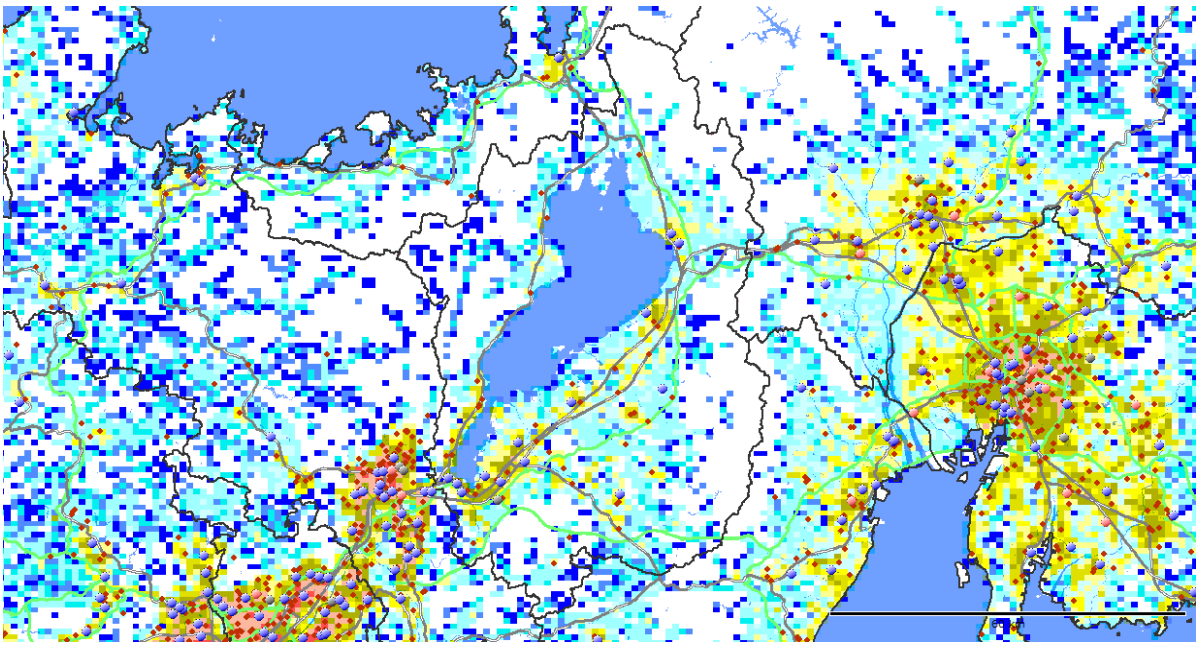
滋賀県　25 － 3

資料編　－　当県ならびに二次医療圏別資料 …… 25 － 8

1. 大津医療圏 …… 25 － 20
2. 湖南医療圏 …… 25 － 25
3. 甲賀医療圏 …… 25 － 30
4. 東近江医療圏 …… 25 － 35
5. 湖東医療圏 …… 25 － 40
6. 湖北医療圏 …… 25 － 45
7. 湖西医療圏 …… 25 － 50

25. 滋賀県

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（滋賀県） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 滋賀県は、総人口約1,413千人（2015年）、面積4,017㎢、人口密度は352人/㎢である。

＊人口の将来予測： 滋賀県の総人口は2025年に1,395千人へと減少し（2015年比－1％）、2040年に1,304千人へと減少する（2025年比－7％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の160千人が、2025年にかけて223千人へと増加し（2015年比＋39％）、2040年には240千人へと増加する（2025年比＋8％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 滋賀県の一人当たり医療費（国保）は360千円（偏差値51）、介護給付費は250千円（偏差値49）であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 滋賀県の一人当たり急性期医療密度指数は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数は0.77で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が48（病院医師数49、診療所医師数46）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は47とやや少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は45とやや少ない。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値46とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 滋賀県の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、14,420人（75歳以上1,000人当たりの偏差値41）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が9,426床（偏差値48）、高齢者住宅等が4,994床（偏差値42）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、12,057人（75歳以上1,000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設42、特別養護老人ホーム53、介護療養型医療施設47、有料老人ホーム41、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム48、サ高住49である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値52と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値49と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値54とやや多い。介護職員（在宅）の合計は、1,828人（75歳以上1,000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－50％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

2.　推移

【人口と医療需要】

滋賀県の総人口は、2005年1,380,361人が、2015年に1,412,916人と2%増加し、2025年の人口が1,394,593人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に14%増加し、2015年から2025年にかけて8%程度の増加が予測される。

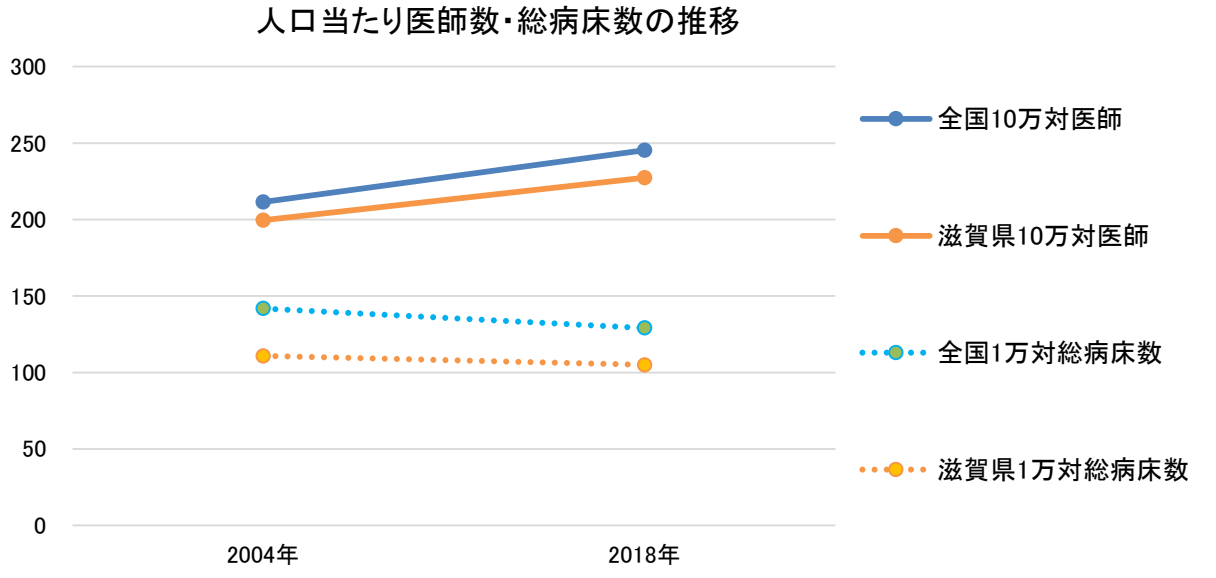
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が63（人口10万人当たり4.6病院（全国平均7.1）偏差値43）であったが、2018年に57（人口10万人当たり4病院（全国平均6.6）偏差値44）となり、14年間で6病院が減少した。

2004年の診療所数が910（人口10万人当たり66診療所（全国平均76）偏差値45）であったが、2018年に1,089（人口10万人当たり77診療所（全国平均80）偏差値48）と、179診療所が増加した。

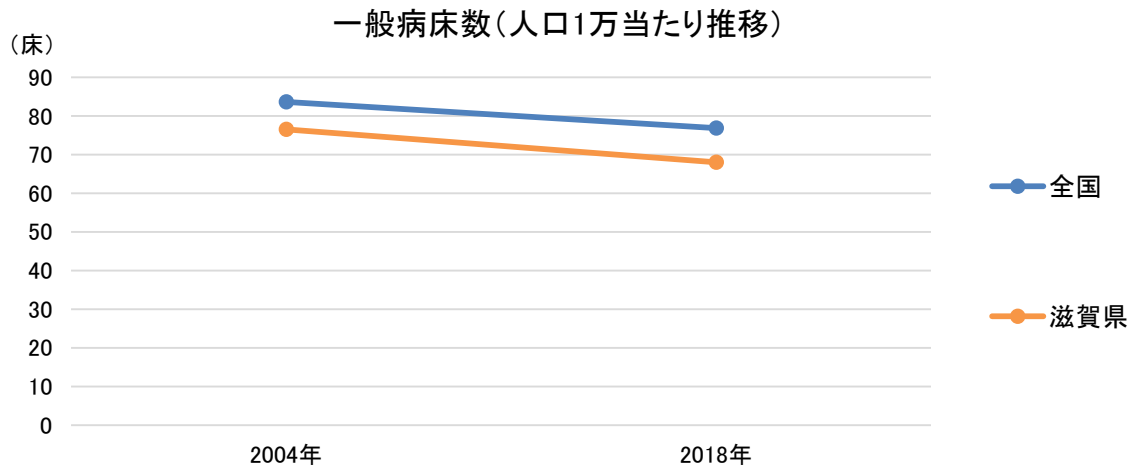
2004年の総病床数が15,303床（人口1万人当たり111（全国平均142）偏差値44）であったが、2018年に14,836床（人口1万人当たり105（全国平均129）偏差値45）と、467床の減少、率にして3%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が2,755人（人口10万人当たり200人（全国平均212人）偏差値49）であったが、2018年に3,214人（人口10万人当たり227人（全国平均245人）偏差値48）と、459人の増加、率にして17%の増加（全国平均15%の増加）が見られた。



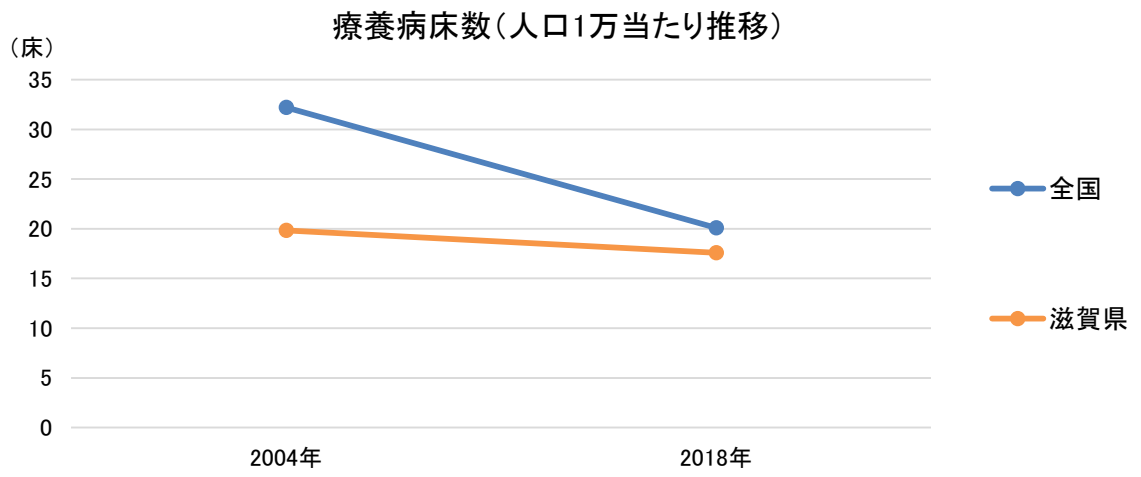
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が10,562床（人口1万人当たり77（全国平均84）偏差値47）であったが、2018年に9,609床（人口1万人当たり68（全国平均77）偏差値47）と、953床の減少、率にして9％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



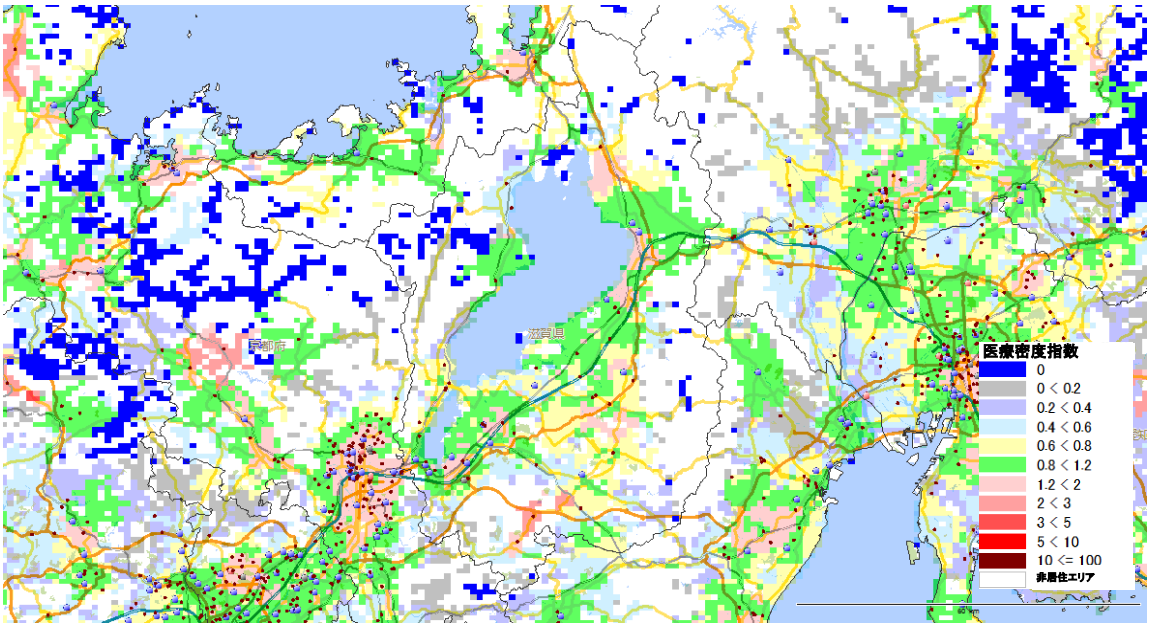
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が2,314床（75歳以上1,000人当たり20（全国平均32）偏差値43）であったが、2018年に2,813床（75歳以上1,000人当たり18（全国平均20）偏差値48）と、499床の増加、率にして22％の増加（全国平均12％の減少）が見られた。



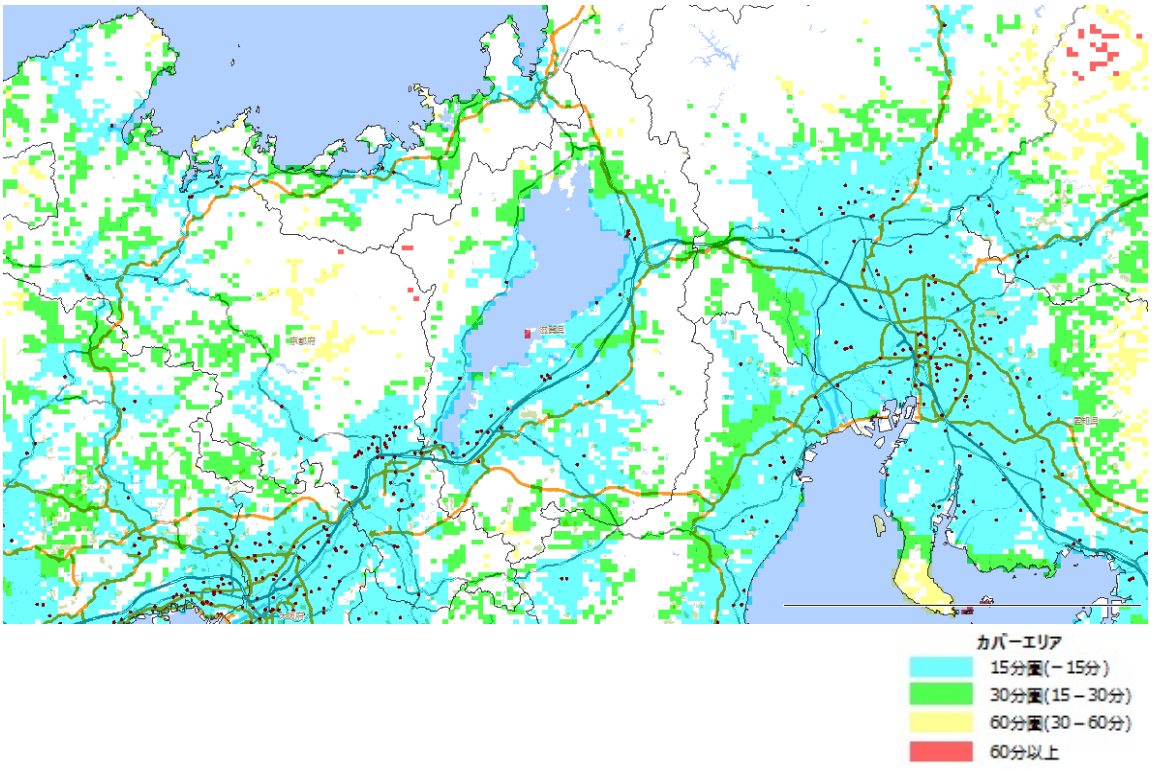
（滋賀県） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））



資料編　ー　当県ならびに二次医療圏別資料

資_図表 25-1　地理情報・人口動態

二次医療圏	人口（単位：千人）	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2025年総人口（単位：千人）	2040年総人口（単位：千人）	2015年75歳以上人口（単位：千人）	2025年75歳以上人口（単位：千人）	2040年75歳以上人口（単位：千人）	2015→25年総人口増減率	2025→40年総人口増減率	2015→25年75歳以上人口増減率	2025→40年75歳以上人口増減率
全国	127,095		372,950		340.8		27%	122,544	110,919	16,322	21,800	22,392	−4%	−9%	34%	3%
滋賀県	1,413	26位	4,017	38位	351.7		24%	1,395	1,304	160	223	240	−1%	−7%	39%	8%
大津	341	24%	465	12%	734.0	地方都市型	25%	341	323	38	57	64	0%	−5%	50%	12%
湖南	334	24%	256	6%	1,301.7	地方都市型	20%	350	349	29	46	50	5%	0%	59%	9%
甲賀	145	10%	552	14%	263.0	地方都市型	24%	138	123	16	22	25	−5%	−11%	38%	14%
東近江	230	16%	728	18%	315.7	地方都市型	25%	220	199	28	37	39	−4%	−10%	32%	5%
湖東	156	11%	392	10%	398.6	地方都市型	24%	155	148	19	24	26	−1%	−5%	26%	8%
湖北	157	11%	931	23%	168.5	過疎地域型	27%	146	127	22	26	26	−7%	−13%	18%	0%
湖西	50	4%	693	17%	72.2	過疎地域型	32%	45	36	8	10	10	−10%	−20%	25%	0%

出　典	＜人口(2015年)＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月 ＜人口(2025年、2040年)＞日本の地域別将来推計人口　国立社会保障・人口問題研究所　平成30年3月 ＜面積＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月

資_図表 25-2　一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり急性期医療密度指数	一人当たり慢性期医療密度指数	75歳以上介護充足度		
			2019年ベッド数	2025年目標ベッド数	2025年充足度指数（%）
全国	1.00	1.00	1,499,244	1,772,098	−18.2%
滋賀県	0.95	0.77	12,145	18,202	−49.9%
大津	0.95	0.57	3,059	4,707	−53.9%
湖南	1.07	0.52	2,234	3,758	−68.2%
甲賀	0.86	1.21	1,374	1,815	−32.1%
東近江	0.78	1.12	1,922	2,980	−55.0%
湖東	1.04	0.53	1,411	1,943	−37.7%
湖北	1.08	0.72	1,564	2,188	−39.9%
湖西	0.54	0.79	581	811	−39.7%

出　典	＜一人当たり急性期医療密度指数＞＜一人当たり慢性期医療密度指数＞その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。(「地域の医療提供体制の現状 − 都道府県別・二次医療圏別データ集 −(2016年度版)序章【参考資料】参照(日医総研WP no.375)) ＜75歳以上介護充足度指数＞高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。2025年の75歳以上推定人口から算出した高齢者住宅・施設の目標ベッド数が2019年ベッド数と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

資_図表 25-3　国保の医療費・地域差指数、全体の介護給付費

二次医療圏	一人あたり医療費（国保のみ）（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院外＋調剤（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	被保険者一人あたり介護給付費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差
全国	356	(44)	1.000	139	(31)	1.000	192	(17)	1.000	255	(34)
滋賀県	360	51	0.989	141	51	1.000	195	52	0.991	250	49
大津	364	52	0.996	144	52	1.017	196	52	0.993	254	50
湖南	362	51	1.000	140	51	0.998	198	53	1.011	233	44
甲賀	355	50	0.968	144	52	1.010	187	47	0.945	236	44
東近江	368	53	0.998	147	53	1.021	198	53	0.989	231	43
湖東	338	46	0.957	130	47	0.950	187	47	0.977	264	53
湖北	360	51	0.982	138	50	0.968	199	54	1.000	289	60
湖西	367	53	0.992	141	51	0.981	201	55	1.004	264	53

出　典	＜一人あたり医療費＞平成29年度医療費の地域差分析　厚生労働省 ＜一人あたり介護給付費＞平成29年度介護保険事業状況報告（年報）　平成29年度累計（平成29年3月サービス分から平成30年2月サービス分まで） ※介護給付費の二次医療圏値の算定には、福岡県と沖縄県の一部市町村が二次医療圏をまたぐ広域連合を構成しているため、構成市町村の75歳以上人口による按分を用いた。また、複数の二次医療圏をもつ横浜市および川崎市は同じデータを記載。

資_図表 25-4　後期高齢者の医療費・地域差指数

二次医療圏	一人あたり後期高齢者医療費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院費（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数	入院外＋調剤（単位：千円）	偏差値 *全国は標準偏差	地域差指数
全国	929	(120)	1.000	466	(100)	1.000	429	(38)	1.000
滋賀県	923	50	0.997	485	52	1.040	411	45	0.965
大津	968	53	1.062	514	55	1.124	424	49	1.009
湖南	923	50	1.011	479	51	1.057	415	46	0.976
甲賀	911	49	0.980	495	53	1.059	391	40	0.911
東近江	949	52	1.015	513	55	1.083	409	45	0.958
湖東	908	48	0.970	476	51	1.004	409	45	0.955
湖北	862	44	0.911	420	45	0.874	415	46	0.961
湖西	842	43	0.912	451	48	0.954	365	33	0.874

出　典	＜一人あたり医療費＞平成29年度医療費の地域差分析　厚生労働省

資_図表 25-5　病院数、診療所数

二次医療圏	病院数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	8,372		6.6	(3.9)	102,105		80	(19.0)
滋賀県	57	0.7%	4.0	44	1,089	1.1%	77	48
大津	15	26%	4.4	44	294	27%	86	53
湖南	13	23%	3.9	43	280	26%	84	52
甲賀	7	12%	4.8	46	90	8%	62	40
東近江	11	19%	4.8	45	149	14%	65	42
湖東	4	7%	2.6	40	117	11%	75	47
湖北	4	7%	2.5	40	121	11%	77	48
湖西	3	5%	6.0	49	38	3%	76	48
出　典	平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月				平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月			

資_図表 25-6　診療所数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所数（再掲）	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	無床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	有床診療所数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	102,105		80	(19.0)	95,171		75	(18.9)	6,934		5.5	(5.8)
滋賀県	1,089	1.1%	77	48	1,050	1.1%	74	50	39	0.6%	2.8	45
大津	294	27%	86	53	282	27%	83	54	12	31%	3.5	47
湖南	280	26%	84	52	268	26%	80	53	12	31%	3.6	47
甲賀	90	8%	62	40	86	8%	59	42	4	10%	2.8	45
東近江	149	14%	65	42	143	14%	62	43	6	15%	2.6	45
湖東	117	11%	75	47	115	11%	74	49	2	5%	1.3	43
湖北	121	11%	77	48	119	11%	76	51	2	5%	1.3	43
湖西	38	3%	76	48	37	4%	74	50	1	3%	2.0	44
出　典	平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月				平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月				平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月			

資_図表 25-7　病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院総病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院＋診療所病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,546,554		1,217	(476)	94,853		75	(91)	1,641,407		1,291	(530)
滋賀県	14,337	0.9%	1,015	46	499	0.5%	35	46	14,836	0.9%	1,050	45
大津	4,021	28%	1,179	49	123	25%	36	46	4,144	28%	1,215	49
湖南	3,023	21%	906	43	153	31%	46	47	3,176	21%	952	44
甲賀	1,538	11%	1,059	47	65	13%	45	47	1,603	11%	1,104	46
東近江	2,630	18%	1,144	48	81	16%	35	46	2,711	18%	1,180	48
湖東	1,279	9%	818	42	38	8%	24	44	1,317	9%	843	42
湖北	1,436	10%	915	44	34	7%	22	44	1,470	10%	937	43
湖西	410	3%	820	42	5	1%	10	43	415	3%	830	41
出　典	平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月				平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資_図表 25-8　病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	療養病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	精神病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	890,712		701	(223)	319,506		251	(200)	329,692		259	(209)
滋賀県	9,127	1.0%	646	48	2,796	0.9%	198	47	2,317	0.7%	164	45
大津	2,424	27%	711	50	656	23%	192	47	896	39%	263	50
湖南	2,311	25%	692	50	467	17%	140	44	239	10%	72	41
甲賀	828	9%	570	44	299	11%	206	48	407	18%	280	51
東近江	1,336	15%	581	45	868	31%	378	56	406	18%	177	46
湖東	900	10%	576	44	245	9%	157	45	120	5%	77	41
湖北	1,022	11%	651	48	161	6%	103	43	249	11%	159	45
湖西	306	3%	612	46	100	4%	200	47	0	0%	0	38
出　典	平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月				平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月				平成30年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成30年10月			

資_図表 25-9　回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		64	(46)	79,543		63	(71)
滋賀県	808	1.0%	57	49	889	1.1%	63	50
大津	171	21%	50	47	126	14%	37	46
湖南	199	25%	60	49	264	30%	79	52
甲賀	146	18%	101	58	72	8%	50	48
東近江	130	16%	57	48	119	13%	52	48
湖東	70	9%	45	46	132	15%	84	53
湖北	52	6%	33	43	110	12%	70	51
湖西	40	5%	80	54	66	7%	132	60
出　典	平成29年度病床機能報告 平成29年7月				令和元年6月地方厚生局			

資_図表 25-10　公的病院病床数、民間病院病床数

二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院病床数の比率	偏差値 *全国は標準偏差	公的病院病床数の比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	440,405	392,862	15,873	1,086,693	494,667	292,291	44.3%	(27%)	5.2%	(22%)
滋賀県	6,610	6,083	211	7,656	3,020	2,585	66.8%	58	7.5%	51
大津	2,322	2,172	50	1,674	251	606	89.6%	67	7.6%	51
湖南	934	834	0	2,056	1,467	467	36.2%	47	0.0%	48
甲賀	633	629	0	905	199	299	76.0%	62	0.0%	48
東近江	829	809	0	1,801	527	868	60.6%	56	0.0%	48
湖東	438	424	0	841	476	245	47.1%	51	0.0%	48
湖北	1,244	1,009	161	179	0	0	100.0%	71	100.0%	92
湖西	210	206	0	200	100	100	67.3%	59	0.0%	48
出　典	地方厚生局指定一覧令和元年12月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計 公的病院の分類は、「新公立病院改革プラン」と「公的医療機関等2025プラン」の策定対象医療機関および開設者が国の医療機関とし、それ以外は民間病院とした。									

資_図表 25-11　全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,217,312		1,745	(819)	923,436		727	(264)
滋賀県	19,296	0.9%	1,366	45	10,980	1.2%	777	52
大津	6,024	31%	1,767	50	2,940	27%	862	55
湖南	5,736	30%	1,719	50	2,892	26%	867	55
甲賀	708	4%	488	35	1,068	10%	736	50
東近江	2,700	14%	1,175	43	1,488	14%	648	47
湖東	1,344	7%	860	39	1,044	10%	668	48
湖北	2,280	12%	1,453	46	1,488	14%	948	58
湖西	504	3%	1,007	41	60	1%	120	27
出　典	平成29年度病床機能報告 ※平成29年6月の月間件数×12				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月 ※平成29年9月の月間件数×12			

資_図表 25-12　医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	311,963		245	(92)	208,127		164	(73)	103,836		82	(24)
滋賀県	3,214	1.0%	227	48	2,196	1.1%	155	49	1,018	1.0%	72	46
大津	1,250	39%	367	63	951	43%	279	66	299	29%	88	53
湖南	734	23%	220	47	465	21%	139	47	269	26%	81	50
甲賀	202	6%	139	38	128	6%	88	40	74	7%	51	37
東近江	422	13%	184	43	283	13%	123	44	139	14%	60	41
湖東	223	7%	143	39	126	6%	81	39	97	10%	62	42
湖北	296	9%	189	44	187	9%	119	44	109	11%	69	45
湖西	87	3%	174	42	56	3%	112	43	31	3%	62	42
出　典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省　平成30年12月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省　平成30年12月			

資_図表 25-13　専門医数（総合内科、小児科、産婦人科）

二次医療圏	総合内科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	小児科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	産婦人科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	29,158		22.9	(11.4)	14,021		11.0	(4.9)	11,300		8.9	(4.1)
滋賀県	315	1.1%	22.3	49	196	1.4%	13.9	56	114	1.0%	8.1	48
大津	133	42%	39.0	64	74	38%	21.7	72	52	46%	15.3	66
湖南	67	21%	20.1	47	60	31%	18.0	64	29	25%	8.7	50
甲賀	23	7%	15.8	44	8	4%	5.5	39	6	5%	4.1	38
東近江	34	11%	14.8	43	21	11%	9.1	46	11	10%	4.8	40
湖東	20	6%	12.8	41	12	6%	7.7	43	6	5%	3.8	38
湖北	30	10%	19.1	47	12	6%	7.6	43	9	8%	5.7	42
湖西	8	3%	16.0	44	9	5%	18.0	64	1	1%	2.0	33
出　典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成30年12月											

資_図表 25-14　専門医数（皮膚科、眼科、耳鼻咽喉科）

二次医療圏	皮膚科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	眼科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	耳鼻咽喉科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	5,732		4.5	(2.2)	9,911		7.8	(3.2)	7,569		6.0	(2.7)
滋賀県	44	0.8%	3.1	44	89	0.9%	6.3	45	91	1.2%	6.4	52
大津	17	39%	5.0	52	42	47%	12.3	64	36	40%	10.6	67
湖南	10	23%	3.0	43	17	19%	5.1	42	31	34%	9.3	62
甲賀	3	7%	2.1	39	5	6%	3.4	36	6	7%	4.1	43
東近江	5	11%	2.2	40	10	11%	4.4	39	7	8%	3.0	39
湖東	5	11%	3.2	44	3	3%	1.9	32	5	5%	3.2	40
湖北	3	7%	1.9	38	8	9%	5.1	42	4	4%	2.5	37
湖西	1	2%	2.0	39	4	4%	8.0	51	2	2%	4.0	43
出　典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成30年12月											

資_図表 25-15　専門医数（精神科、外科、整形外科）

二次医療圏	精神科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	整形外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	9,675		7.6	(3.7)	21,907		17.2	(7.1)	16,875		13.3	(4.6)
滋賀県	75	0.8%	5.3	44	203	0.9%	14.4	46	170	1.0%	12.0	47
大津	28	37%	8.2	52	79	39%	23.2	58	51	30%	15.0	54
湖南	19	25%	5.7	45	52	26%	15.6	48	47	28%	14.1	52
甲賀	4	5%	2.8	37	10	5%	6.9	35	16	9%	11.0	45
東近江	8	11%	3.5	39	25	12%	10.9	41	25	15%	10.9	45
湖東	3	4%	1.9	35	13	6%	8.3	37	10	6%	6.4	35
湖北	13	17%	8.3	52	19	9%	12.1	43	15	9%	9.6	42
湖西	0	0%	0	29	5	2%	10.0	40	6	4%	12.0	47

出　典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成30年12月

資_図表 25-16　専門医数（泌尿器科、脳神経外科、放射線科）

二次医療圏	泌尿器科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	脳神経外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	放射線科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	6,200		4.9	(2.2)	6,967		5.5	(2.5)	5,943		4.7	(3.2)
滋賀県	61	1.0%	4.3	47	68	1.0%	4.8	47	67	1.1%	4.7	50
大津	27	44%	7.9	64	26	38%	7.6	59	25	37%	7.3	58
湖南	12	20%	3.6	44	17	25%	5.1	48	17	25%	5.1	51
甲賀	3	5%	2.1	37	2	3%	1.4	33	6	9%	4.1	48
東近江	9	15%	3.9	46	7	10%	3.0	40	6	9%	2.6	43
湖東	3	5%	1.9	36	7	10%	4.5	46	4	6%	2.6	43
湖北	6	10%	3.8	45	8	12%	5.1	48	8	12%	5.1	51
湖西	1	2%	2.0	37	1	1%	2.0	36	1	1%	2.0	42

出　典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成30年12月

資_図表 25-17　専門医数（麻酔科、病理、救急科）

二次医療圏	麻酔科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病理専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	救急科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	7,382		5.8	(3.3)	1,669		1.3	(1.0)	4,262		3.4	(2.1)
滋賀県	83	1.1%	5.9	50	22	1.3%	1.6	52	42	1.0%	3.0	48
大津	39	47%	11.4	67	10	45%	2.9	66	24	57%	7.0	67
湖南	24	29%	7.2	54	5	23%	1.5	52	11	26%	3.3	50
甲賀	5	6%	3.4	43	0	0%	0	37	2	5%	1.4	41
東近江	6	7%	2.6	40	2	9%	0.9	46	2	5%	0.9	38
湖東	3	4%	1.9	38	2	9%	1.3	50	0	0%	0	34
湖北	5	6%	3.2	42	3	14%	1.9	56	3	7%	1.9	43
湖西	1	1%	2.0	38	0	0%	0	37	0	0%	0	34

出　典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成30年12月

資_図表 25-18　専門医数（形成外科、リハビリテーション科）

二次医療圏	形成外科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科専門医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,220		1.7	(1.3)	2,758		2.2	(1.5)
滋賀県	20	0.9%	1.4	47	28	1.0%	2.0	49
大津	5	25%	1.5	48	15	54%	4.4	65
湖南	5	25%	1.5	48	7	25%	2.1	50
甲賀	0	0%	0	36	1	4%	0.7	40
東近江	3	15%	1.3	47	4	14%	1.7	47
湖東	2	10%	1.3	46	0	0%	0	35
湖北	3	15%	1.9	51	0	0%	0	35
湖西	2	10%	4.0	67	1	4%	2.0	49
出　典	平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成30年12月							

資_図表 25-19　看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,145,134		901	(287)	919,205		723	(243)	225,929		178	(71)
滋賀県	11,517	1.0%	815	47	9,707	1.1%	687	49	1,810	0.8%	128	43
大津	3,199	28%	938	51	2,792	29%	819	54	407	22%	119	42
湖南	2,813	24%	843	48	2,302	24%	690	49	511	28%	153	47
甲賀	1,021	9%	703	43	834	9%	575	44	186	10%	128	43
東近江	1,730	15%	753	45	1,481	15%	644	47	249	14%	108	40
湖東	1,032	9%	660	42	857	9%	548	43	175	10%	112	41
湖北	1,413	12%	901	50	1,192	12%	759	51	222	12%	141	45
湖西	309	3%	617	40	249	3%	499	41	59	3%	119	42
出　典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月			

資_図表 25-20　総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	139,385		110	(57)	311,289		245	(103)
滋賀県	1,226	0.9%	87	46	3,245	1.0%	230	49
大津	278	23%	82	45	899	28%	264	52
湖南	306	25%	92	47	917	28%	275	53
甲賀	159	13%	109	50	324	10%	223	48
東近江	223	18%	97	48	425	13%	185	44
湖東	103	8%	66	42	318	10%	203	46
湖北	87	7%	56	41	274	8%	175	43
湖西	70	6%	140	55	88	3%	176	43
出　典	平成29年医療施設（静態・動態）調査 厚生労働省　平成29年10月				平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省　平成30年12月			

資_図表 25-21　在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	14,484		0.9	(0.4)	1,483		0.1	(0.1)	11,549		0.7	(0.2)
滋賀県	154	1.1%	1.0	52	13	0.9%	0.1	49	129	1.1%	0.8	54
大津	59	38%	1.5	65	4	31%	0.1	52	34	26%	0.9	58
湖南	31	20%	1.1	54	2	15%	0.1	47	25	19%	0.9	57
甲賀	6	4%	0.4	38	2	15%	0.1	55	12	9%	0.7	52
東近江	26	17%	0.9	51	1	8%	0.0	42	16	12%	0.6	44
湖東	6	4%	0.3	37	1	8%	0.1	45	14	11%	0.8	52
湖北	17	11%	0.8	47	1	8%	0.0	44	23	18%	1.0	65
湖西	9	6%	1.1	54	2	15%	0.2	70	5	4%	0.6	45
出　典	届出受理医療機関名簿　地方厚生局 令和元年12月				届出受理医療機関名簿　地方厚生局 令和元年12月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省　令和元年6月			

資_図表 25-22　総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員（病床）数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護保険施設定員（病床）数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,719,101		105	(17)	1,004,501		62	(12)	714,600		44	(16)
滋賀県	14,420	0.8%	90	41	9,426	0.9%	59	48	4,994	0.7%	31	42
大津	3,634	25%	95	44	1,759	19%	46	37	1,875	38%	49	53
湖南	2,905	20%	101	48	1,898	20%	66	54	1,007	20%	35	45
甲賀	1,592	11%	98	46	1,215	13%	75	61	377	8%	23	37
東近江	2,154	15%	77	33	1,643	17%	59	48	511	10%	18	34
湖東	1,798	12%	97	45	1,054	11%	57	46	744	15%	40	48
湖北	1,668	12%	76	32	1,357	14%	62	50	311	6%	14	31
湖西	669	5%	80	35	500	5%	60	49	169	3%	20	35
出　典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

資_図表 25-23　老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	特別養護老人ホーム（特養）定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	368,125		23	(6.0)	584,338		36	(9.9)	52,038		3.2	(3.8)
滋賀県	2,808	0.8%	18	42	6,261	1.1%	39	53	357	0.7%	2.2	47
大津	449	16%	12	32	1,283	20%	34	48	27	8%	0.7	43
湖南	566	20%	20	45	1,232	20%	43	57	100	28%	3.5	51
甲賀	370	13%	23	51	795	13%	49	64	50	14%	3.1	50
東近江	615	22%	22	49	908	15%	32	46	120	34%	4.3	53
湖東	200	7%	11	30	794	13%	43	57	60	17%	3.2	50
湖北	448	16%	20	46	909	15%	41	56	0	0%	0	42
湖西	160	6%	19	44	340	5%	41	55	0	0%	0	42
出　典	令和元年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資_図表 25-24　有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	240,971		14.8	(10.9)	23,545		1.4	(2.1)	204,406		12.5	(5.7)
滋賀県	837	0.3%	5.2	41	0	0.0%	0	43	1,832	0.9%	11.4	48
大津	670	80%	17.5	53	0		0	43	630	34%	16.5	57
湖南	40	5%	1.4	38	0		0	43	296	16%	10.3	46
甲賀	0	0%	0	36	0		0	43	159	9%	9.8	45
東近江	0	0%	0	36	0		0	43	279	15%	9.9	45
湖東	127	15%	6.8	43	0		0	43	180	10%	9.7	45
湖北	0	0%	0	36	0		0	43	207	11%	9.4	45
湖西	0	0%	0	36	0		0	43	81	4%	9.7	45

出　典	令和元年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 25-25　サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住（特定施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	サ高住（非特定施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	245,678		15.1	(7.4)	25,821		1.6	(1.9)	219,857		13.5	(7.1)
滋賀県	2,325	0.9%	14.5	49	50	0.2%	0.3	43	2,275	1.0%	14.2	51
大津	575	25%	15.0	50	0	0%	0	42	575	25%	15.0	52
湖南	671	29%	23.4	61	0	0%	0	42	671	29%	23.4	64
甲賀	218	9%	13.5	48	0	0%	0	42	218	10%	13.5	50
東近江	232	10%	8.3	41	0	0%	0	42	232	10%	8.3	43
湖東	437	19%	23.5	61	50	100%	2.7	56	387	17%	20.8	60
湖北	104	4%	4.7	36	0	0%	0	42	104	5%	4.7	38
湖西	88	4%	10.5	44	0	0%	0	42	88	4%	10.5	46

出　典	サ高住(特定施設)とサ高住(非特定施設)の合計	令和元年6月　国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの	令和元年6月　国土交通省・厚生労働省 サービス付き高齢者向け住宅 情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 25-26　介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数（施設）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	看護師数（訪問）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	174,893		10.7	(2.2)	119,205		7.3	(1.9)	55,688		3.4	(1.2)
滋賀県	1,665	1.0%	10.4	49	995	0.8%	6.2	44	670	1.2%	4.2	57
大津	337	20%	8.8	41	196	20%	5.1	38	142	21%	3.7	53
湖南	335	20%	11.7	54	170	17%	5.9	43	166	25%	5.8	70
甲賀	211	13%	13.1	61	136	14%	8.4	56	76	11%	4.7	61
東近江	293	18%	10.4	49	204	20%	7.3	50	89	13%	3.2	48
湖東	190	11%	10.2	48	122	12%	6.6	46	68	10%	3.7	52
湖北	232	14%	10.6	49	127	13%	5.8	42	105	16%	4.8	62
湖西	66	4%	7.9	37	42	4%	5.0	38	24	4%	2.9	46

出　典	令和元年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 25-27　介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）（常勤換算）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数（介護施設等）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	介護職員数（在宅）	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,513,115		93	(11.3)	1,294,087		79	(10.6)	219,028		13.4	(5.3)
滋賀県	13,885	0.9%	87	45	12,057	0.9%	75	46	1,828	0.8%	11.4	46
大津	3,504	25%	92	49	2,866	24%	75	46	638	35%	16.7	56
湖南	2,663	19%	93	50	2,281	19%	79	50	382	21%	13.3	50
甲賀	1,372	10%	85	43	1,257	10%	78	49	116	6%	7.1	38
東近江	2,223	16%	79	38	1,999	17%	71	42	224	12%	8.0	40
湖東	1,529	11%	82	41	1,344	11%	72	43	186	10%	10.0	44
湖北	1,869	13%	85	43	1,650	14%	75	46	220	12%	10.0	44
湖西	724	5%	87	45	661	5%	79	50	63	3%	7.5	39

出　典	令和元年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 25-28　在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問看護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	訪問介護利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,228,040		75	(35)	552,189		34	(14)	1,116,943		68	(24)
滋賀県	8,966	0.7%	56	45	6,743	1.2%	42	56	11,024	1.0%	69	50
大津	3,503	39%	92	55	1,198	18%	31	48	3,527	32%	92	60
湖南	1,256	14%	44	41	1,890	28%	66	73	2,062	19%	72	51
甲賀	637	7%	39	40	823	12%	51	62	900	8%	56	45
東近江	1,135	13%	40	40	806	12%	29	46	1,705	15%	61	47
湖東	770	9%	41	40	599	9%	32	49	1,138	10%	61	47
湖北	1,271	14%	58	45	1,145	17%	52	63	1,290	12%	59	46
湖西	394	4%	47	42	282	4%	34	50	402	4%	48	41

出　典	令和元年6月　厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの

資_図表 25-29　総人口の推移と医療需要の増減（医療費ベース）

二次医療圏	地域タイプ	総人口(2005→2015→2025)					医療需要推移（医療費ベース）(2005→2015→2025)		
		2005年	2015年	2005→15年増減率	2025年（推計）	2005→25年増減率	2005→15年増減率	2015→25年増減率	2005→25年増減率
全国		127,767,994	127,094,745	−1%	122,544,102	−4%	13%	5%	18%
滋賀県		1,380,361	1,412,916	2%	1,394,593	1%	14%	8%	23%
大津	地方都市型	323,719	340,973	5%	340,565	5%	20%	11%	33%
湖南	地方都市型	301,337	333,744	11%	349,688	16%	24%	13%	41%
甲賀	地方都市型	149,178	145,190	−3%	138,179	−7%	10%	6%	17%
東近江	地方都市型	233,496	229,799	−2%	220,232	−6%	9%	5%	15%
湖東	地方都市型	153,174	156,273	2%	155,409	1%	12%	7%	20%
湖北	過疎地域型	165,507	156,912	−5%	145,904	−12%	4%	0%	4%
湖西	過疎地域型	53,950	50,025	−7%	44,616	−17%	5%	0%	4%

出　典	＜人口(2005年)＞平成17年国勢調査　都道府県・市区町村別統計表（男女別人口,年齢（3区分）・割合,就業者数,昼間人口など） ＜人口(2015年)＞平成27年国勢調査　人口等基本集計 平成27年10月 ＜人口(2025年)＞日本の地域別将来推計人口　国立社会保障・人口問題研究所　平成30年3月 ※医療需要は（0～64歳人口）＋（65～74歳人口）×3.0＋（75歳以上人口）×4.9で算出。

資_図表 25-30　病院数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	9,077	7.1	(3.9)	8,372	6.6	(3.9)	−705	−8%
滋賀県	63	4.6	43	57	4.0	44	−6	−10%
大津	16	4.9	44	15	4.4	44	−1	−6%
湖南	15	5.0	44	13	3.9	43	−2	−13%
甲賀	9	6.0	47	7	4.8	46	−2	−22%
東近江	12	5.1	45	11	4.8	45	−1	−8%
湖東	4	2.6	38	4	2.6	40	0	0%
湖北	4	2.4	38	4	2.5	40	0	0%
湖西	3	5.6	46	3	6.0	49	0	0%

出　典	＜病院数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜病院数2018年＞平成30年医療施設（静態・動態）調査　厚生労働省　平成30年10月

資_図表 25-31　診療所数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	97,051	76	(20)	102,105	80	(19)	5,054	5%
滋賀県	910	66	45	1,089	77	48	179	20%
大津	253	78	51	294	86	53	41	16%
湖南	226	75	50	280	84	52	54	24%
甲賀	69	46	35	90	62	40	21	30%
東近江	127	54	39	149	65	42	22	17%
湖東	90	59	41	117	75	47	27	30%
湖北	103	62	43	121	77	48	18	17%
湖西	42	78	51	38	76	48	−4	−10%

出　典	＜診療所数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜診療所数2018年＞平成30年医療施設（静態・動態）調査　厚生労働省　平成30年10月

資_図表 25-32　医師数の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	270,371	212	(84)	311,963	245	(92)	41,592	15%
滋賀県	2,755	200	49	3,214	227	48	459	17%
大津	1,060	327	64	1,250	367	63	190	18%
湖南	575	191	48	734	220	47	159	28%
甲賀	166	111	38	202	139	38	36	22%
東近江	342	146	42	422	184	43	80	23%
湖東	240	157	43	223	143	39	−17	−7%
湖北	294	178	46	296	189	44	2	1%
湖西	78	145	42	87	174	42	9	12%

出　典	＜総医師数2004年＞平成16年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成16年12月 ＜総医師数2018年＞平成30年医師・歯科医師・薬剤師調査　厚生労働省　平成30年12月

資_図表 25-33　総病床数(精神科を含む)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	1,812,554	142	(56)	1,641,407	129	(53)	-171,147	-9%
滋賀県	15,303	111	44	14,836	105	45	-467	-3%
大津	4,300	133	48	4,144	122	49	-156	-4%
湖南	3,065	102	43	3,176	95	44	111	4%
甲賀	1,787	120	46	1,603	110	46	-184	-10%
東近江	2,705	116	45	2,711	118	48	6	0%
湖東	1,388	91	41	1,317	84	42	-71	-5%
湖北	1,570	95	42	1,470	94	43	-100	-6%
湖西	488	90	41	415	83	41	-73	-15%

出　典	＜総病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜総病床数2018年＞平成30年医療施設(静態・動態)調査　厚生労働省　平成30年10月

資_図表 25-34　一般病床数(病院＋診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	人口1万当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	1,068,821	84	(28)	977,056	77	(26)	-91,765	-9%
滋賀県	10,562	77	47	9,609	68	47	-953	-9%
大津	2,664	82	50	2,530	74	49	-134	-5%
湖南	2,493	83	50	2,464	74	49	-29	-1%
甲賀	1,071	72	46	893	62	44	-178	-17%
東近江	1,692	72	46	1,417	62	44	-275	-16%
湖東	1,134	74	47	938	60	43	-196	-17%
湖北	1,164	70	45	1,056	67	46	-108	-9%
湖西	344	64	43	311	62	44	-33	-10%

出　典	＜一般病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜一般病床数2018年＞平成30年医療施設(静態・動態)調査　厚生労働省　平成30年10月

資_図表 25-35　療養病床数(病院＋診療所)の推移

二次医療圏	2004年			2018年			2004→2018増減	
	数	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	数	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	増減数	増減率
全国	373,823	32	(18)	328,015	20	(11)	-45,808	-12%
滋賀県	2,314	20	43	2,813	18	48	499	22%
大津	610	24	45	673	18	48	63	10%
湖南	348	19	42	467	16	47	119	34%
甲賀	270	22	44	299	18	49	29	11%
東近江	599	27	47	868	31	60	269	45%
湖東	120	9	37	245	13	44	125	104%
湖北	227	12	39	161	7	38	-66	-29%
湖西	140	21	44	100	12	43	-40	-29%

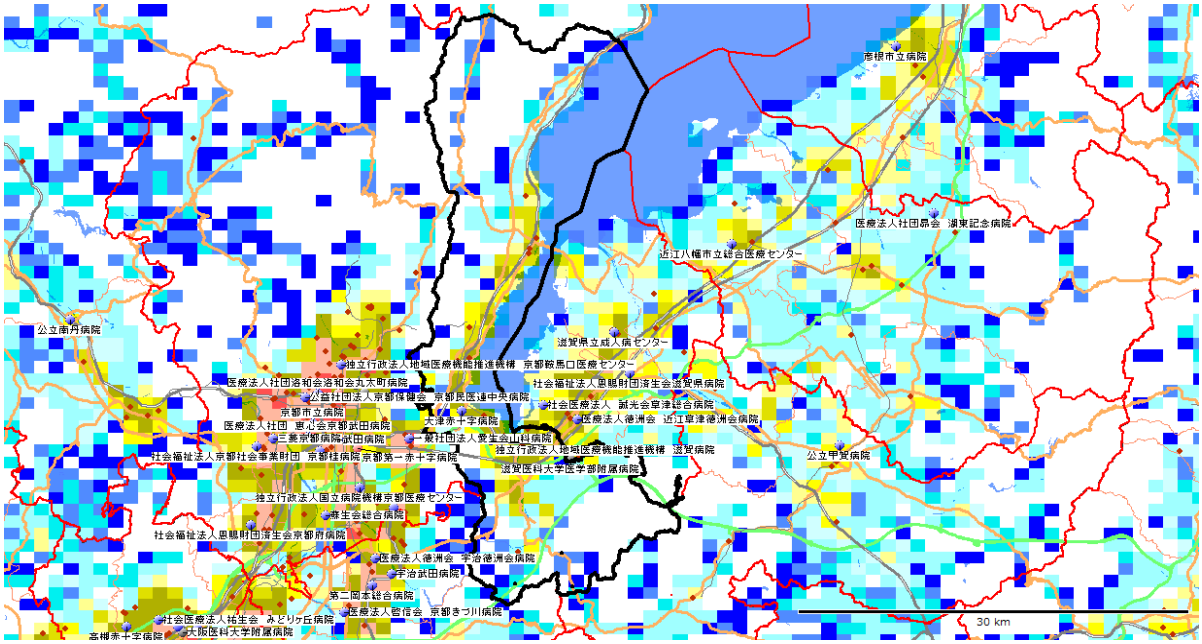
出　典	＜一般病床数2004年＞平成16年医療施設調査　厚生労働省　平成16年10月 ＜一般病床数2018年＞平成30年医療施設(静態・動態)調査　厚生労働省　平成30年10月

25-1. 大津（おおつ）医療圏

構成市区町村　大津市

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（大津医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 大津（大津市）は、総人口約341千人（2015年）、面積465㎢、人口密度は734人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 大津の総人口は2025年に341千人とほぼ変わらず（2015年比±0％）、2040年に323千人へと減少する（2025年比－5％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の38千人が、2025年にかけて57千人へと増加し（2015年比＋50％）、2040年には64千人へと増加する（2025年比＋12％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 大津の一人当たり医療費（国保）は364千円（偏差値52）、介護給付費は254千円（偏差値50）であり、医療費、介護給付費ともに全国平均レベルである。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 大津の一人当たり急性期医療密度指数は0.95、一人当たり慢性期医療密度指数は0.57で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が63（病院医師数66、診療所医師数53）と、総医師数は多く、病院医師数は非常に多く、診療所医師数は全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は51と全国平均レベルである。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。大津には、年間全身麻酔件数が2000例以上の滋賀医科大学医学部附属病院（Ⅰ群）、1000例以上の市立大津市民病院（Ⅲ群）、大津赤十字病院（Ⅲ群・救命）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値45とやや少なく、回復期病床数は偏差値47とやや少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は50で精神病床数は全国平均レベルである。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は53で診療所数はやや多い。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 大津の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、3,634人（75歳以上1,000人当たりの偏差値44）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,759床（偏差値37）、高齢者住宅等が1,875床（偏差値53）である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや上回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、2,866人（75歳以上1,000人当たりの偏差値46）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設32、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設43、有料老人ホーム53、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム57、サ高住50である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値65と多く、在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。また、訪問看護ステーションは偏差値58と多い。介護職員（在宅）の合計は、638人（75歳以上1,000人当たりの偏差値56）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－54％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（大津医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

大津医療圏の総人口は、2005年323,719人が、2015年に340,973人と5%増加し、2025年の人口が340,565人と予測され、2005年→2025年の間に5%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に20%増加し、2015年から2025年にかけて11%程度の増加が予測される。

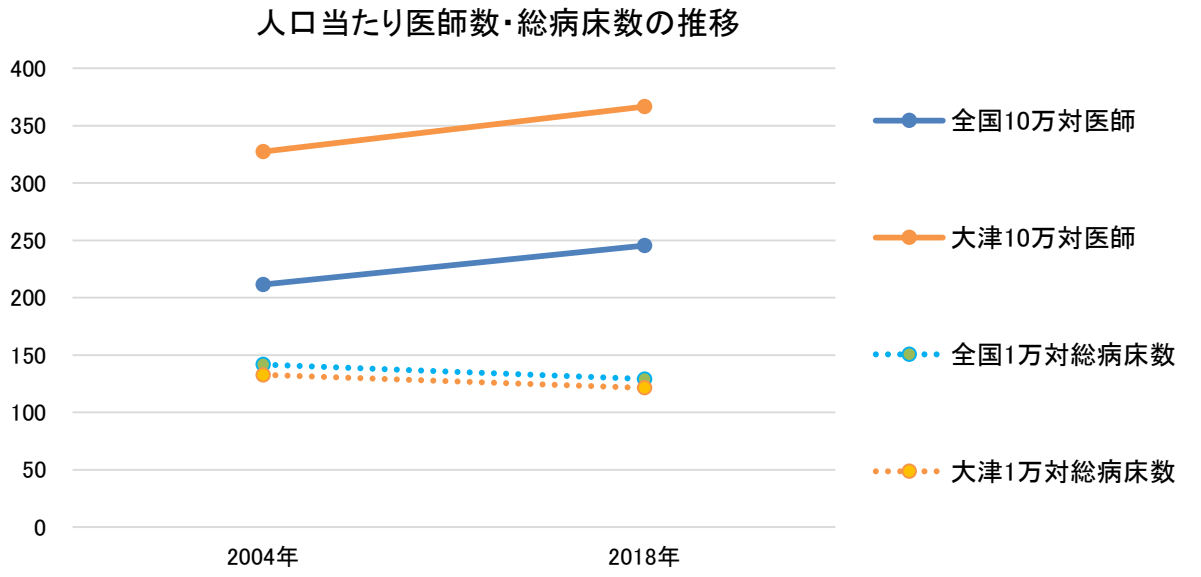
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が16（人口10万人当たり4.9病院（全国平均7.1）偏差値44）であったが、2018年に15（人口10万人当たり4.4病院（全国平均6.6）偏差値44）となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が253（人口10万人当たり78診療所（全国平均76）偏差値51）であったが、2018年に294（人口10万人当たり86診療所（全国平均80）偏差値53）と、41診療所が増加した。

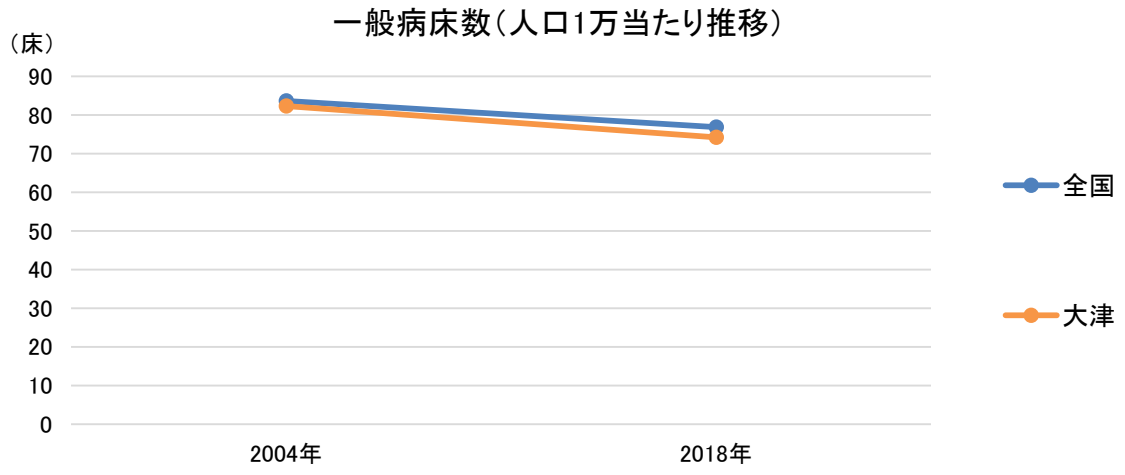
2004年の総病床数が4,300床（人口1万人当たり133（全国平均142）偏差値48）であったが、2018年に4,144床（人口1万人当たり122（全国平均129）偏差値49）と、156床の減少、率にして4%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が1,060人（人口10万人当たり327人（全国平均212人）偏差値64）であったが、2018年に1,250人（人口10万人当たり367人（全国平均245人）偏差値63）と、190人の増加、率にして18%の増加（全国平均15%の増加）が見られた。



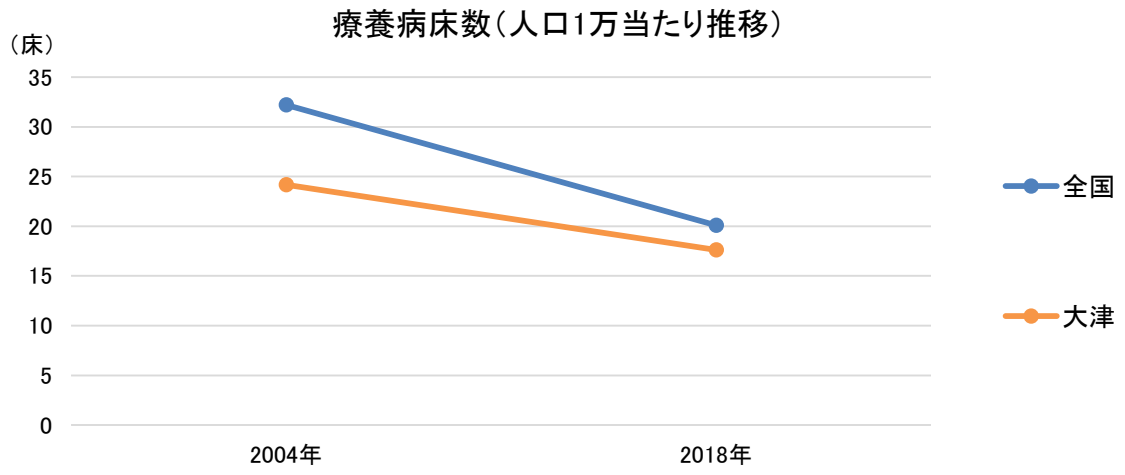
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が2,664床（人口1万人当たり82（全国平均84）偏差値50）であったが、2018年に2,530床（人口1万人当たり74（全国平均77）偏差値49）と、134床の減少、率にして5％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



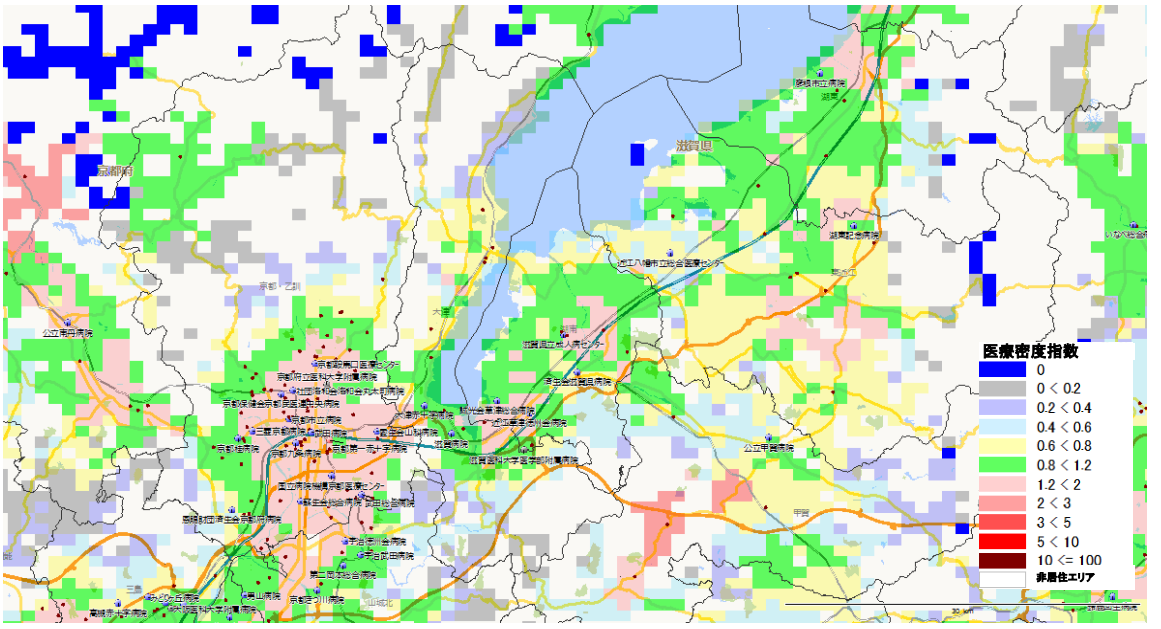
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が610床（75歳以上1,000人当たり24（全国平均32）偏差値45）であったが、2018年に673床（75歳以上1,000人当たり18（全国平均20）偏差値48）と、63床の増加、率にして10％の増加（全国平均12％の減少）が見られた。



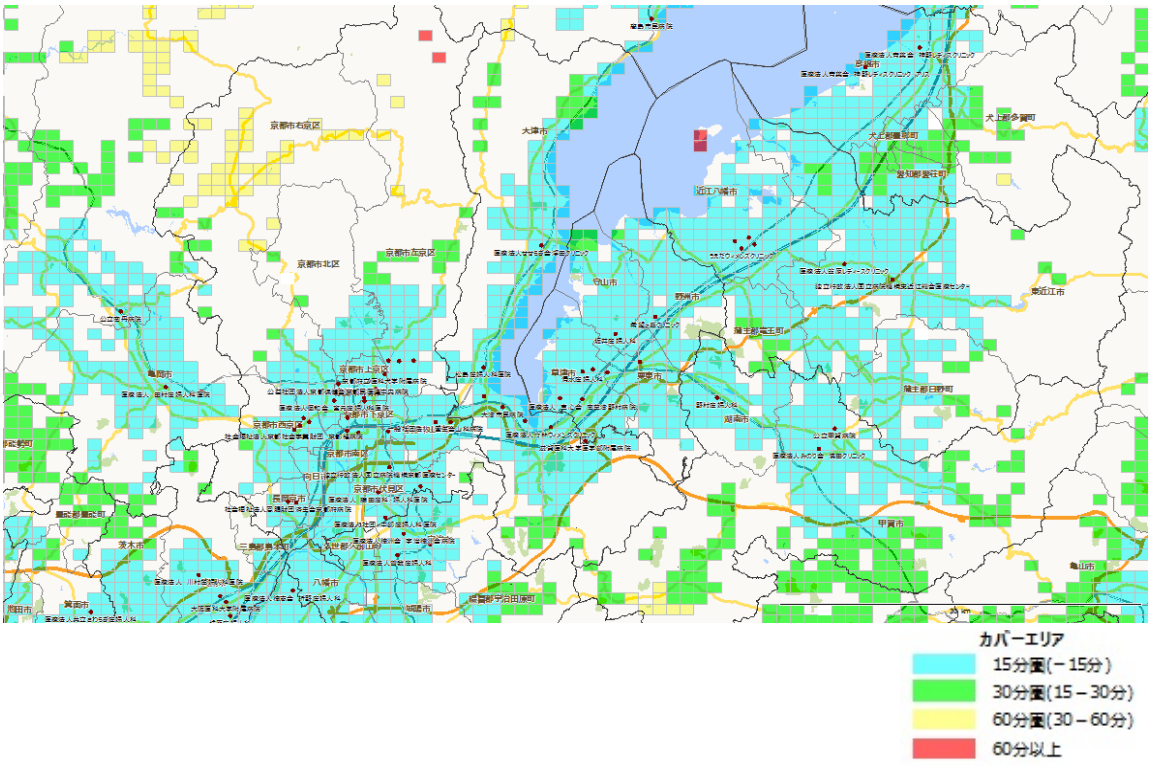
（大津医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-1-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

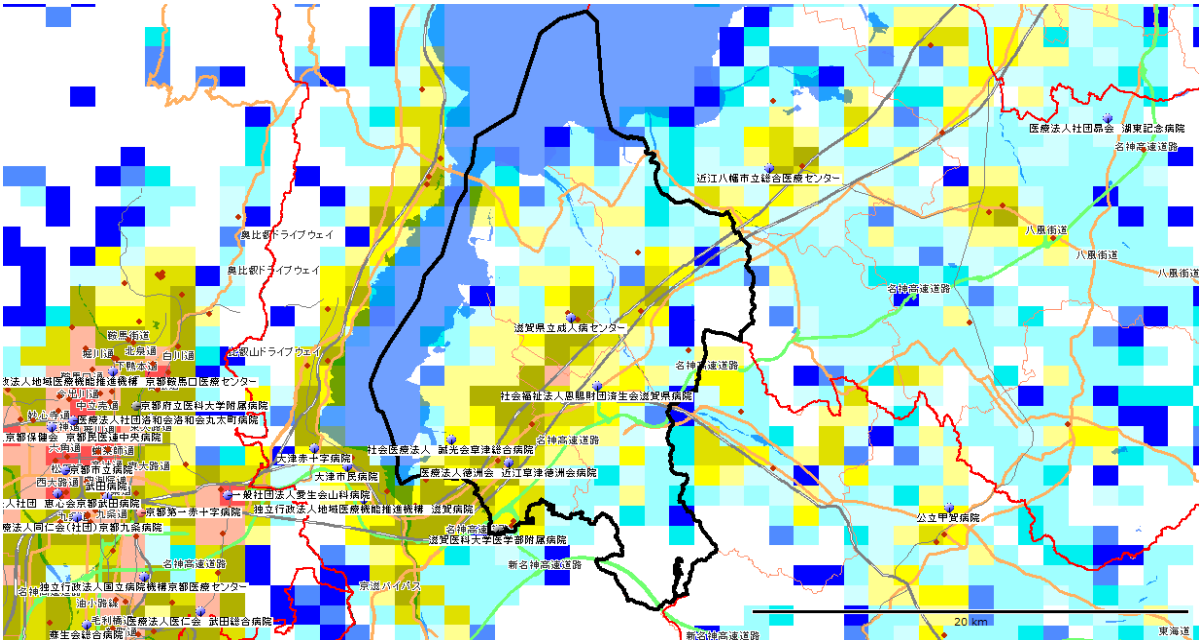


25-2. 湖南（こなん）医療圏

構成市区町村　草津市　守山市　栗東市　野洲市

※日本医師会JMAP（地域医療情報システム）で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口（1平方キロ）

- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院

- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(湖南医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 湖南(草津市)は、総人口約334千人(2015年)、面積256㎢、人口密度は1,302人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 湖南の総人口は2025年に350千人へと増加し(2015年比＋5%)、2040年に349千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の29千人が、2025年にかけて46千人へと増加し(2015年比＋59%)、2040年には50千人へと増加する(2025年比＋9%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 湖南の一人当たり医療費(国保)は362千円(偏差値51)、介護給付費は233千円(偏差値44)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 湖南の一人当たり急性期医療密度指数は1.07、一人当たり慢性期医療密度指数は0.52で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が47(病院医師数47、診療所医師数50)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は48と全国平均レベルである。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は50で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は50と全国平均レベルである。湖南には、年間全身麻酔件数が1000例以上の済生会滋賀県病院（Ⅲ群・救命）、滋賀県立総合病院（Ⅲ群）、草津総合病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は44と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値47とやや少なく、回復期病床数は偏差値49と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は52で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 湖南の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,905人(75歳以上1,000人当たりの偏差値48)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が1,898床(偏差値54)、高齢者住宅等が1,007床(偏差値45)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2,281人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設51、有料老人ホーム38、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム46、サ高住61である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値57と多い。介護職員(在宅)の合計は、382人(75歳以上1,000人当たりの偏差値50)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－68%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（湖南医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

湖南医療圏の総人口は、2005年301,337人が、2015年に333,744人と11%増加し、2025年の人口が349,688人と予測され、2005年→2025年の間に16%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に24%増加し、2015年から2025年にかけて13%程度の増加が予測される。

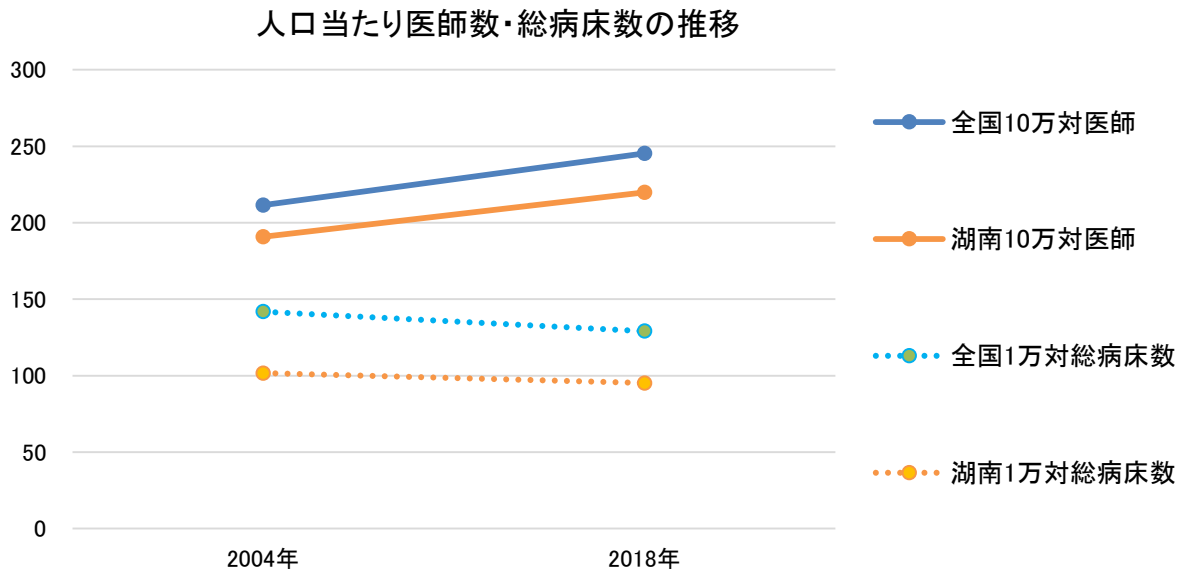
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が15（人口10万人当たり5病院（全国平均7.1）偏差値44）であったが、2018年に13（人口10万人当たり3.9病院（全国平均6.6）偏差値43）となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が226（人口10万人当たり75診療所（全国平均76）偏差値50）であったが、2018年に280（人口10万人当たり84診療所（全国平均80）偏差値52）と、54診療所が増加した。

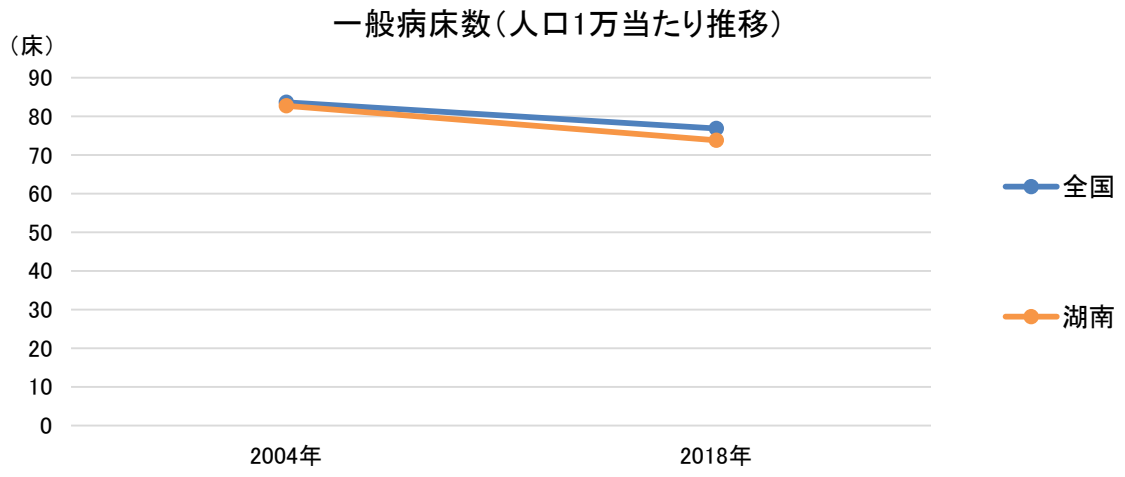
2004年の総病床数が3,065床（人口1万人当たり102（全国平均142）偏差値43）であったが、2018年に3,176床（人口1万人当たり95（全国平均129）偏差値44）と、111床の増加、率にして4%の増加（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が575人（人口10万人当たり191人（全国平均212人）偏差値48）であったが、2018年に734人（人口10万人当たり220人（全国平均245人）偏差値47）と、159人の増加、率にして28%の増加（全国平均15%の増加）が見られた。



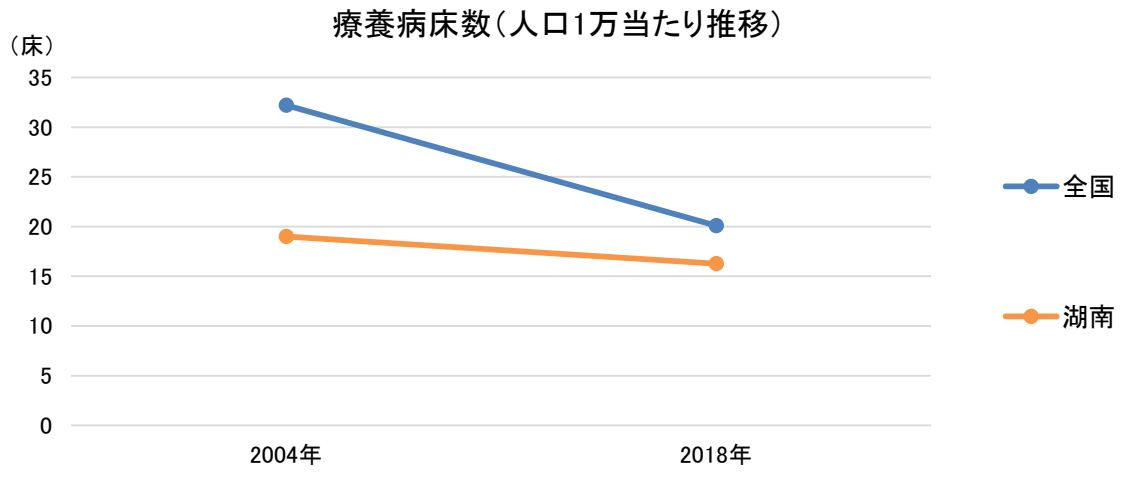
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が2,493床（人口1万人当たり83（全国平均84）偏差値50）であったが、2018年に2,464床（人口1万人当たり74（全国平均77）偏差値49）と、29床の減少、率にして1％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



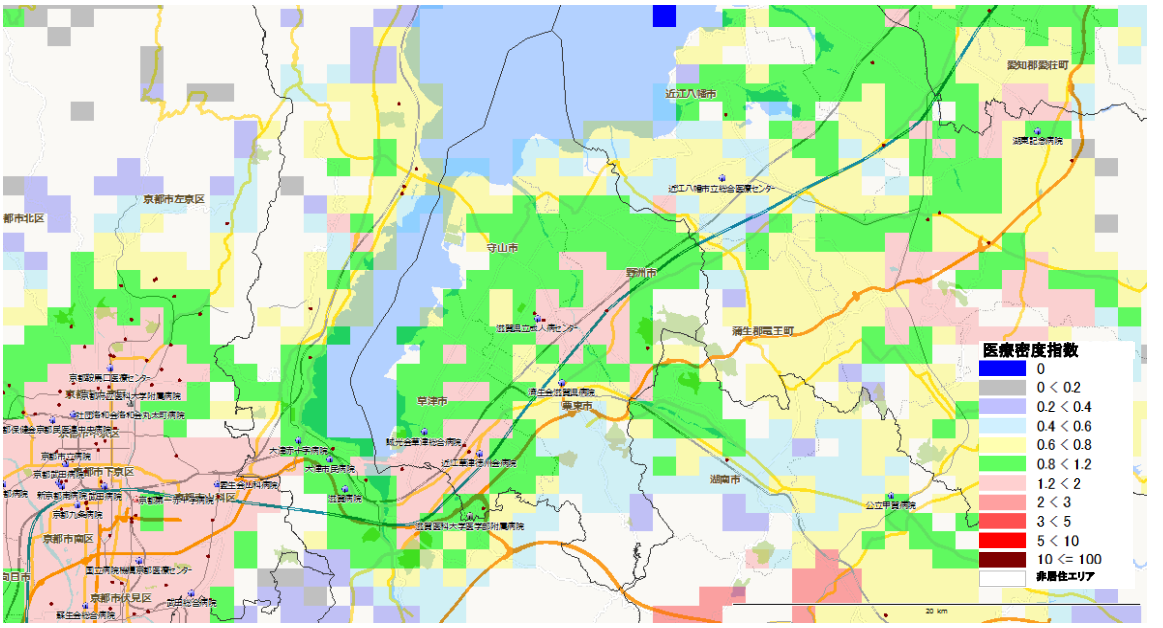
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が348床（75歳以上1,000人当たり19（全国平均32）偏差値42）であったが、2018年に467床（75歳以上1,000人当たり16（全国平均20）偏差値47）と、119床の増加、率にして34％の増加（全国平均12％の減少）が見られた。



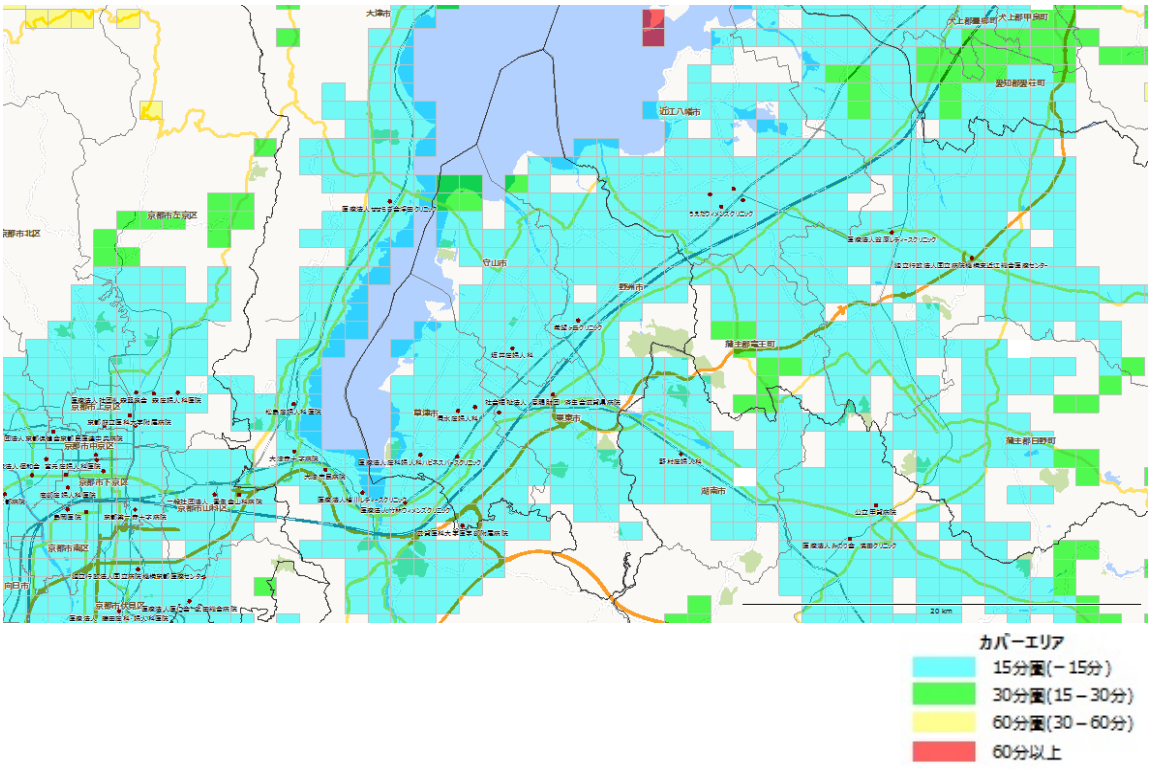
（湖南医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-2-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-2-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

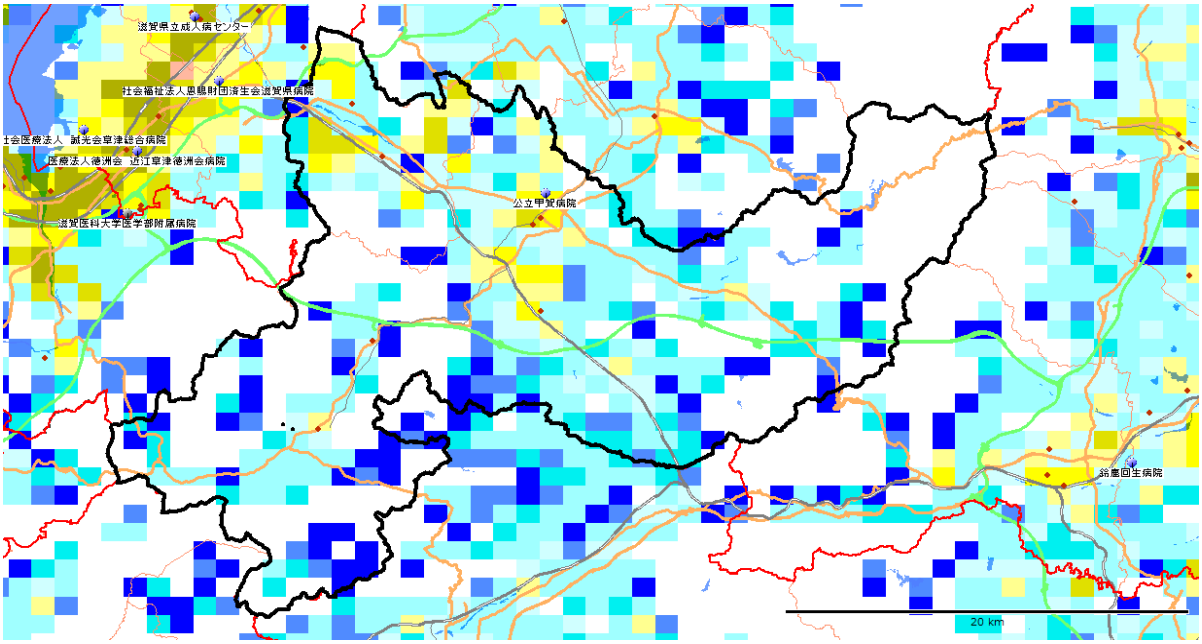


25-3. 甲賀(こうか)医療圏

構成市区町村　甲賀市　　湖南市

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（甲賀医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 甲賀（甲賀市）は、総人口約145千人（2015年）、面積552㎢、人口密度は263人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 甲賀の総人口は2025年に138千人へと減少し（2015年比－5％）、2040年に123千人へと減少する（2025年比－11％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の16千人が、2025年にかけて22千人へと増加し（2015年比＋38％）、2040年には25千人へと増加する（2025年比＋14％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 甲賀の一人当たり医療費（国保）は355千円（偏差値50）、介護給付費は236千円（偏差値44）であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 甲賀の一人当たり急性期医療密度指数は0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は1.21で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が38（病院医師数40、診療所医師数37）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は43と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は35と少ない。甲賀には、年間全身麻酔件数が500例以上の公立甲賀病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は48と療養病床数は全国平均レベルである。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値50と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値58と多い。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は51で精神病床数は全国平均レベルである。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は40で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 甲賀の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1,592人（75歳以上1,000人当たりの偏差値46）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,215床（偏差値61）、高齢者住宅等が377床（偏差値37）である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1,257人（75歳以上1,000人当たりの偏差値49）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設51、特別養護老人ホーム64、介護療養型医療施設50、有料老人ホームなし（偏差値36）、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム45、サ高住48である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値38と少なく、在宅療養支援病院は偏差値55とやや多い。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、116人（75歳以上1,000人当たりの偏差値38）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－32％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（甲賀医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

甲賀医療圏の総人口は、2005年149,178人が、2015年に145,190人と3%減少し、2025年の人口が138,179人と予測され、2005年→2025年の間に7%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に10%増加し、2015年から2025年にかけて6%程度の増加が予測される。

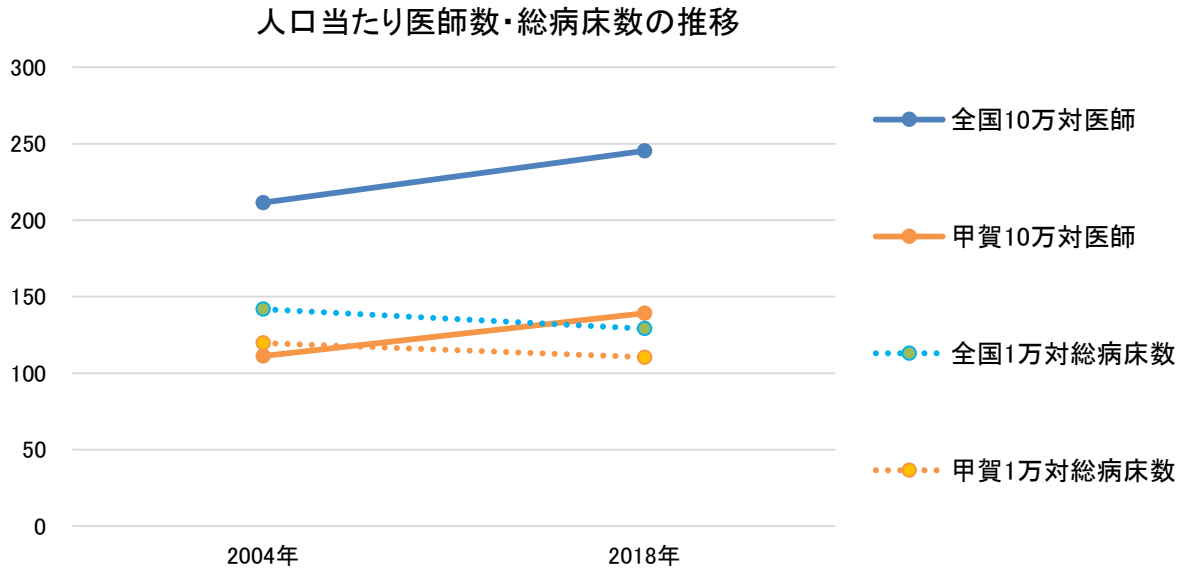
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が9（人口10万人当たり6病院（全国平均7.1）偏差値47）であったが、2018年に7（人口10万人当たり4.8病院（全国平均6.6）偏差値46）となり、14年間で2病院が減少した。

2004年の診療所数が69（人口10万人当たり46診療所（全国平均76）偏差値35）であったが、2018年に90（人口10万人当たり62診療所（全国平均80）偏差値40）と、21診療所が増加した。

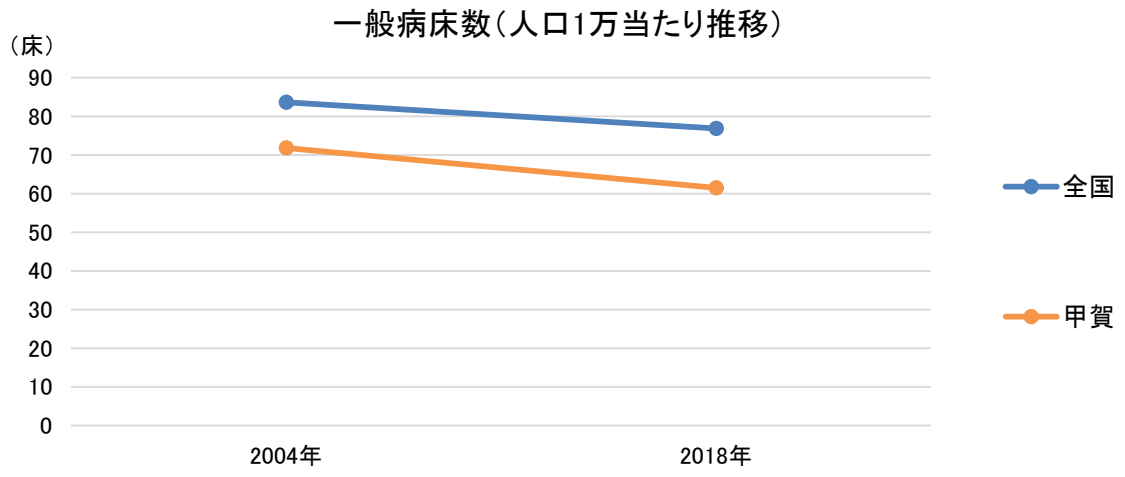
2004年の総病床数が1,787床（人口1万人当たり120（全国平均142）偏差値46）であったが、2018年に1,603床（人口1万人当たり110（全国平均129）偏差値46）と、184床の減少、率にして10%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が166人（人口10万人当たり111人（全国平均212人）偏差値38）であったが、2018年に202人（人口10万人当たり139人（全国平均245人）偏差値38）と、36人の増加、率にして22%の増加（全国平均15%の増加）が見られた。



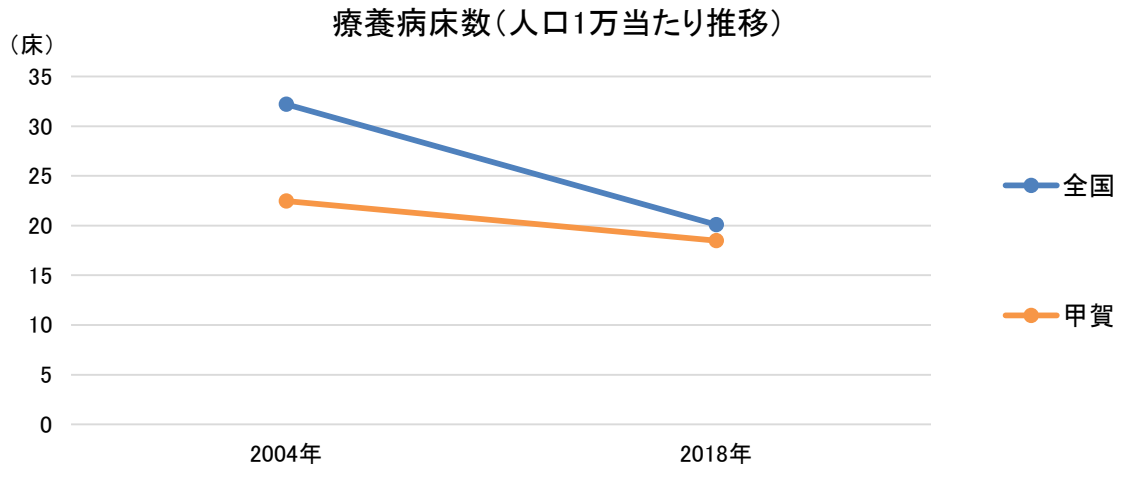
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が1,071床（人口1万人当たり72（全国平均84）偏差値46）であったが、2018年に893床（人口1万人当たり62（全国平均77）偏差値44）と、178床の減少、率にして17％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



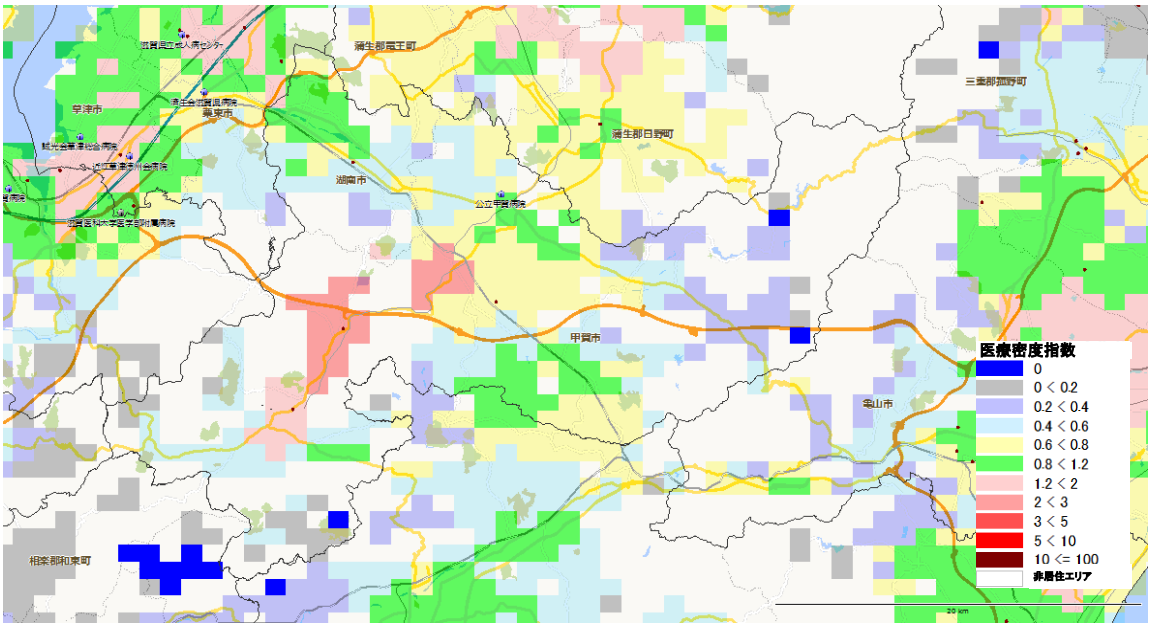
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が270床（75歳以上1,000人当たり22（全国平均32）偏差値44）であったが、2018年に299床（75歳以上1,000人当たり18（全国平均20）偏差値49）と、29床の増加、率にして11％の増加（全国平均12％の減少）が見られた。



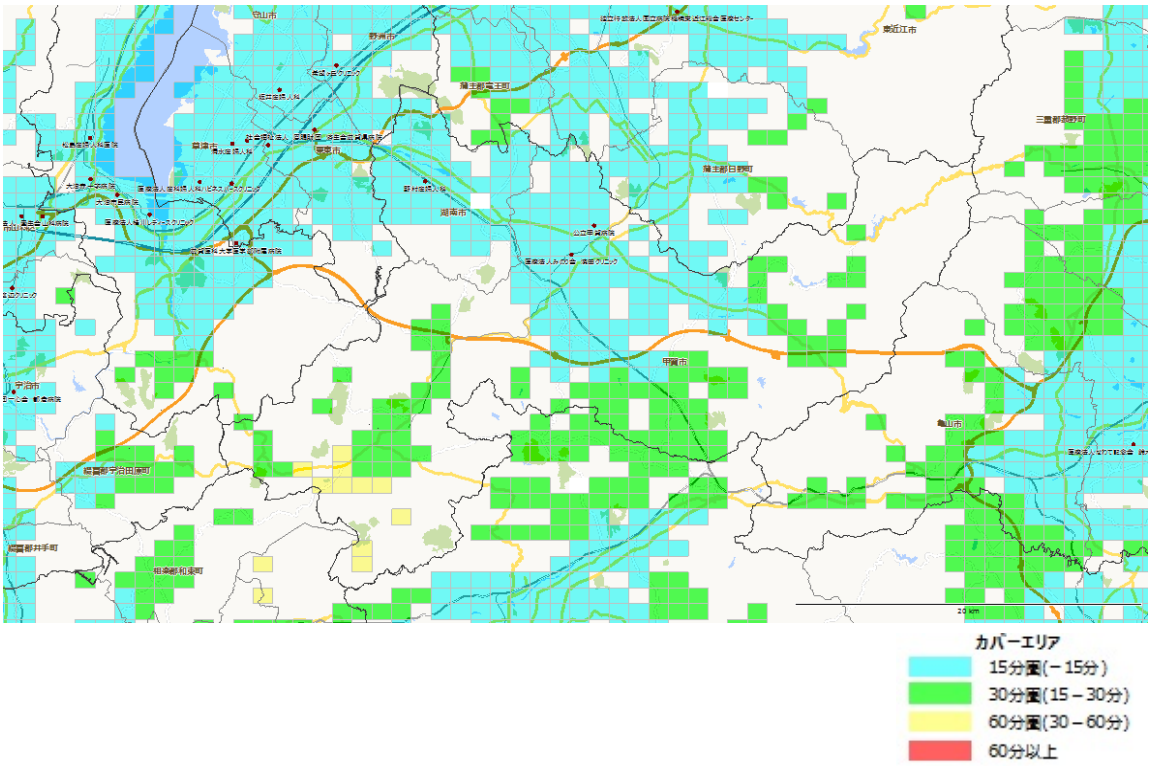
（甲賀医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-3-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

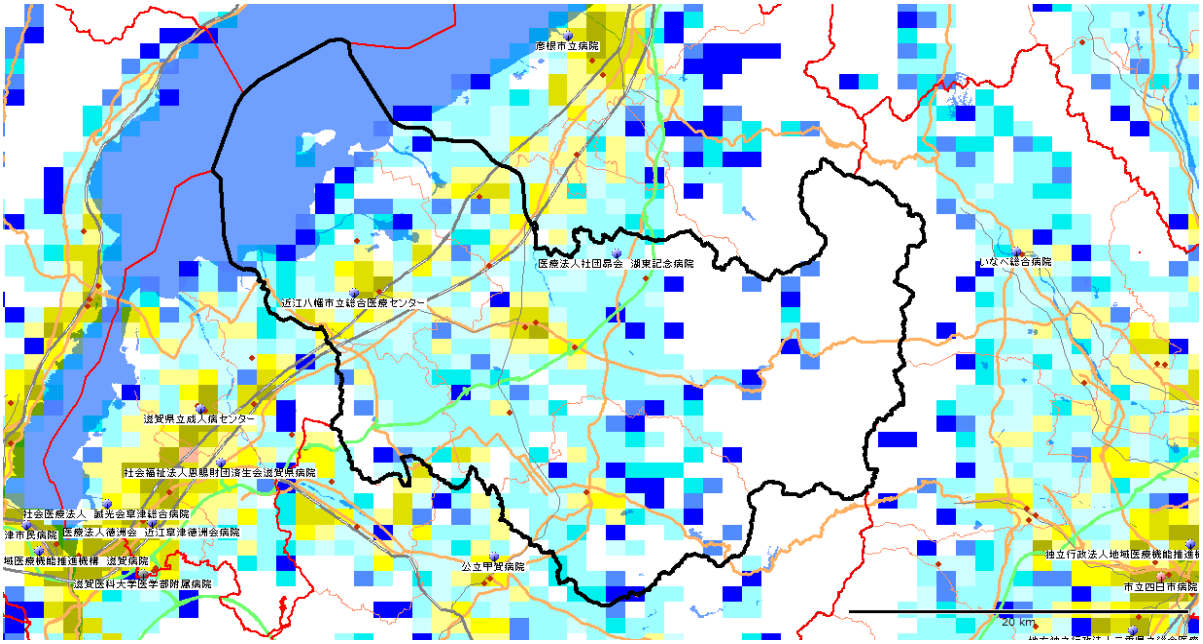


25-4. 東近江医療圏（ひがしおうみ）

構成市区町村　近江八幡市　東近江市　日野町　竜王町

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(東近江医療圏)　1.　地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など：　東近江(近江八幡市)は、総人口約230千人(2015年)、面積728㎢、人口密度は316人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測：　東近江の総人口は2025年に220千人へと減少し(2015年比－4%)、2040年に199千人へと減少する(2025年比－10%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の28千人が、2025年にかけて37千人へと増加し(2015年比＋32%)、2040年には39千人へと増加する(2025年比＋5%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費：　東近江の一人当たり医療費(国保)は368千円(偏差値53)、介護給付費は231千円(偏差値43)であり、医療費はやや高いが、介護給付費は低い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度：　東近江の一人当たり急性期医療密度指数は0.78、一人当たり慢性期医療密度指数は1.12で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

＊医師・看護師の現状：　総医師数の偏差値が43(病院医師数44、診療所医師数41)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は45とやや少ない。

＊一般病床等の現状：　人口当たりの一般病床の偏差値は45で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は43と少ない。東近江には、年間全身麻酔件数が1000例以上の近江八幡市立総合医療センター（Ⅲ群・救命）がある。

＊療養病床の現状：　人口当たりの療養病床の偏差値は56と療養病床数は多い。

＊リハビリの現状：　総療法士数は偏差値48と全国平均レベルであり、回復期病床数は偏差値48と全国平均レベルである。

＊精神病床の現状：　人口当たりの精神病床の偏差値は46で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状：　人口当たりの診療所数の偏差値は42で診療所数は少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状：　東近江の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,154人(75歳以上1,000人当たりの偏差値33)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,643床(偏差値48)、高齢者住宅等が511床(偏差値34)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,999人(75歳以上1,000人当たりの偏差値42)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設49、特別養護老人ホーム46、介護療養型医療施設53、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住41である。

＊在宅ケアの現状：　在宅療養支援診療所は偏差値51と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院は偏差値42と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値44と少ない。介護職員(在宅)の合計は、224人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測：　2025年の介護充足度指数は－55%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（東近江医療圏）　2.　推移

【人口と医療需要】

東近江医療圏の総人口は、2005年233,496人が、2015年に229,799人と2%減少し、2025年の人口が220,232人と予測され、2005年→2025年の間に6%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に9%増加し、2015年から2025年にかけて5%程度の増加が予測される。

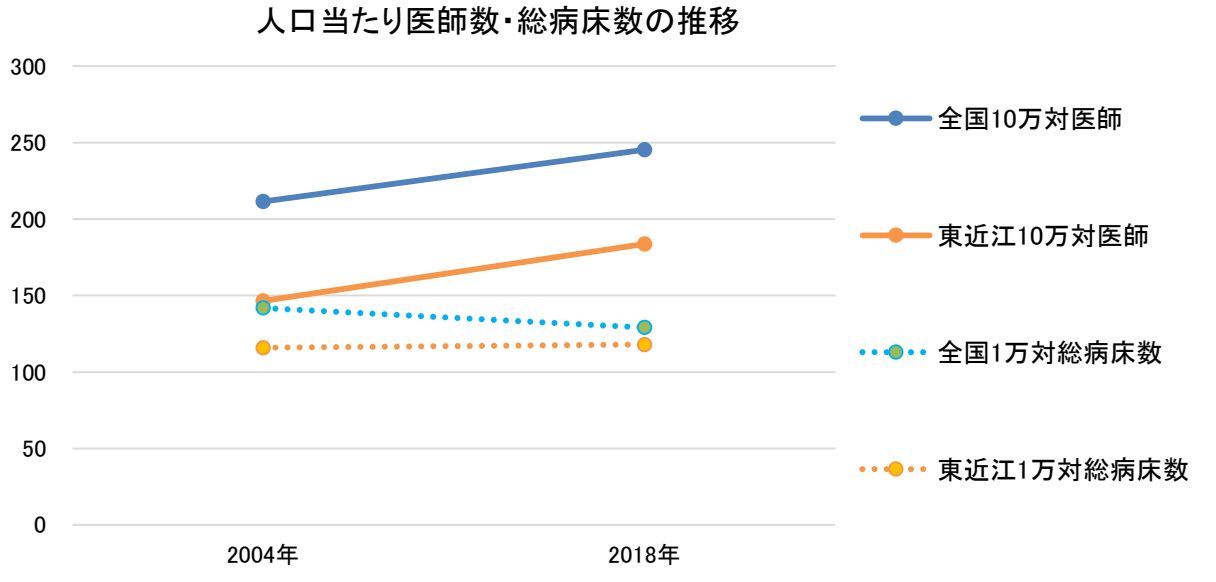
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が12（人口10万人当たり5.1病院（全国平均7.1）偏差値45）であったが、2018年に11（人口10万人当たり4.8病院（全国平均6.6）偏差値45）となり、14年間で1病院が減少した。

2004年の診療所数が127（人口10万人当たり54診療所（全国平均76）偏差値39）であったが、2018年に149（人口10万人当たり65診療所（全国平均80）偏差値42）と、22診療所が増加した。

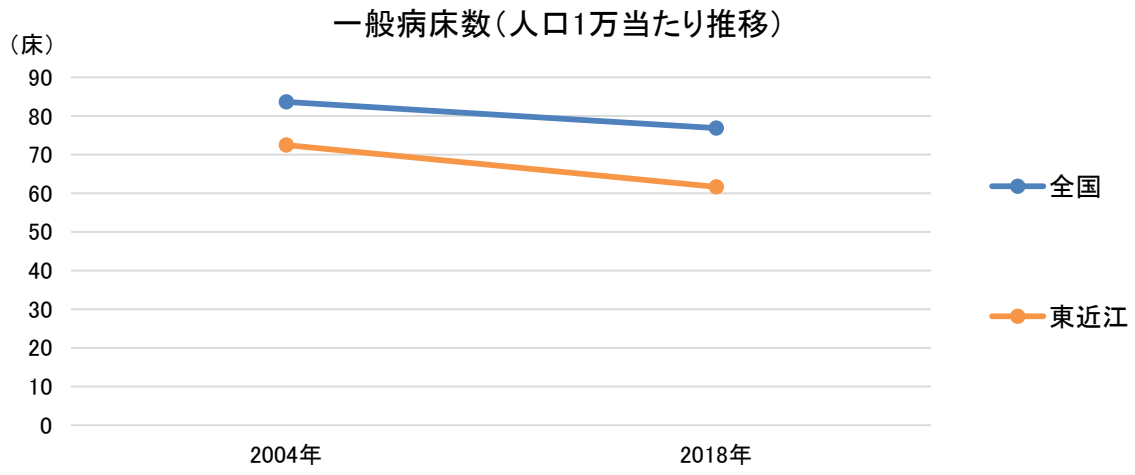
2004年の総病床数が2,705床（人口1万人当たり116（全国平均142）偏差値45）であったが、2018年に2,711床（人口1万人当たり118（全国平均129）偏差値48）と、6床の増加、率にして1%未満の増加（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が342人（人口10万人当たり146人（全国平均212人）偏差値42）であったが、2018年に422人（人口10万人当たり184人（全国平均245人）偏差値43）と、80人の増加、率にして23%の増加（全国平均15%の増加）が見られた。



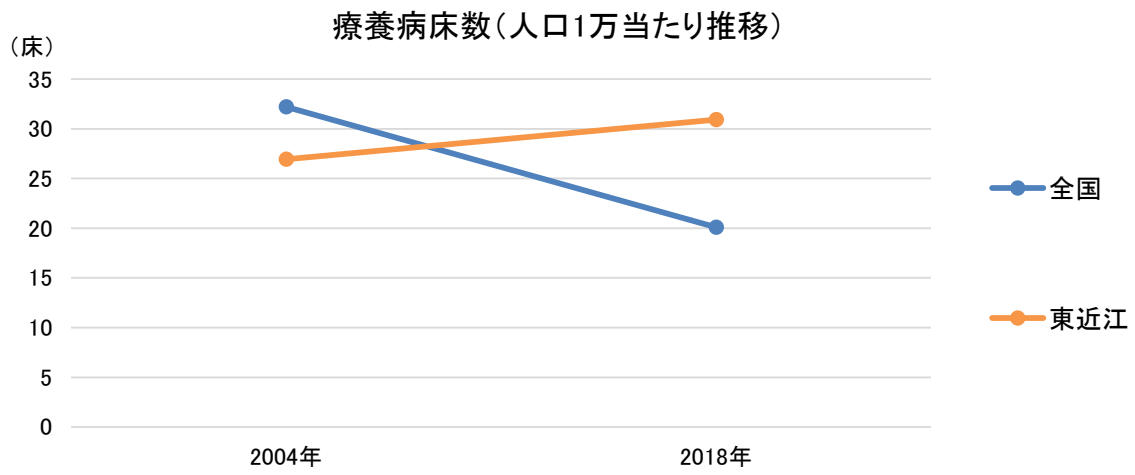
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が1,692床（人口1万人当たり72（全国平均84）偏差値46）であったが、2018年に1,417床（人口1万人当たり62（全国平均77）偏差値44）と、275床の減少、率にして16％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



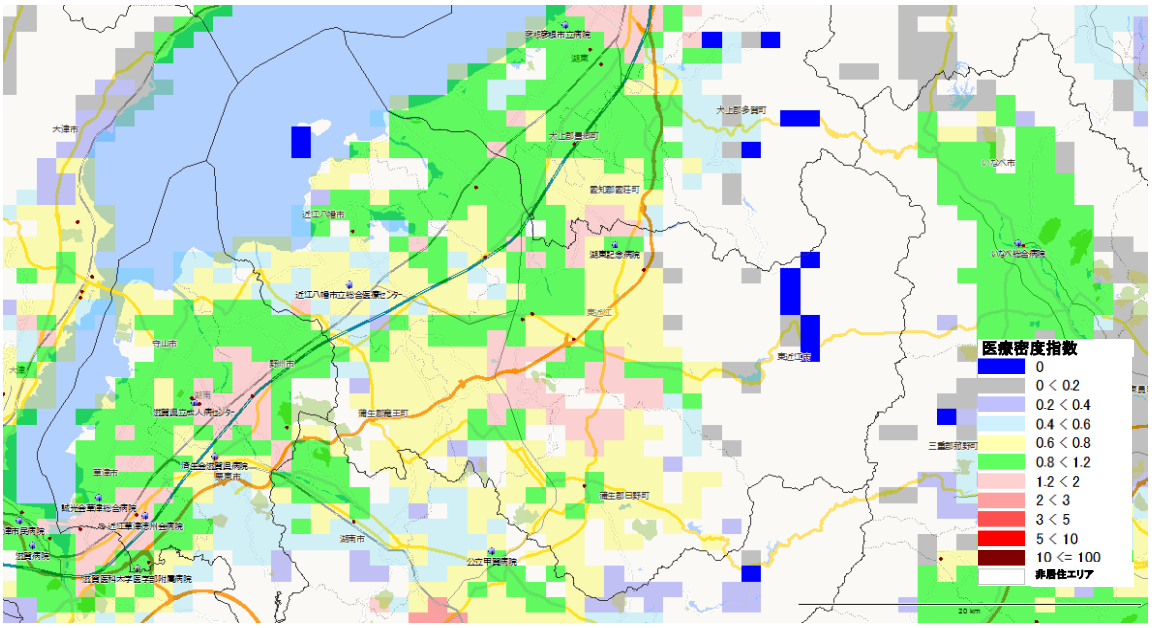
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が599床（75歳以上1,000人当たり27（全国平均32）偏差値47）であったが、2018年に868床（75歳以上1,000人当たり31（全国平均20）偏差値60）と、269床の増加、率にして45％の増加（全国平均12％の減少）が見られた。



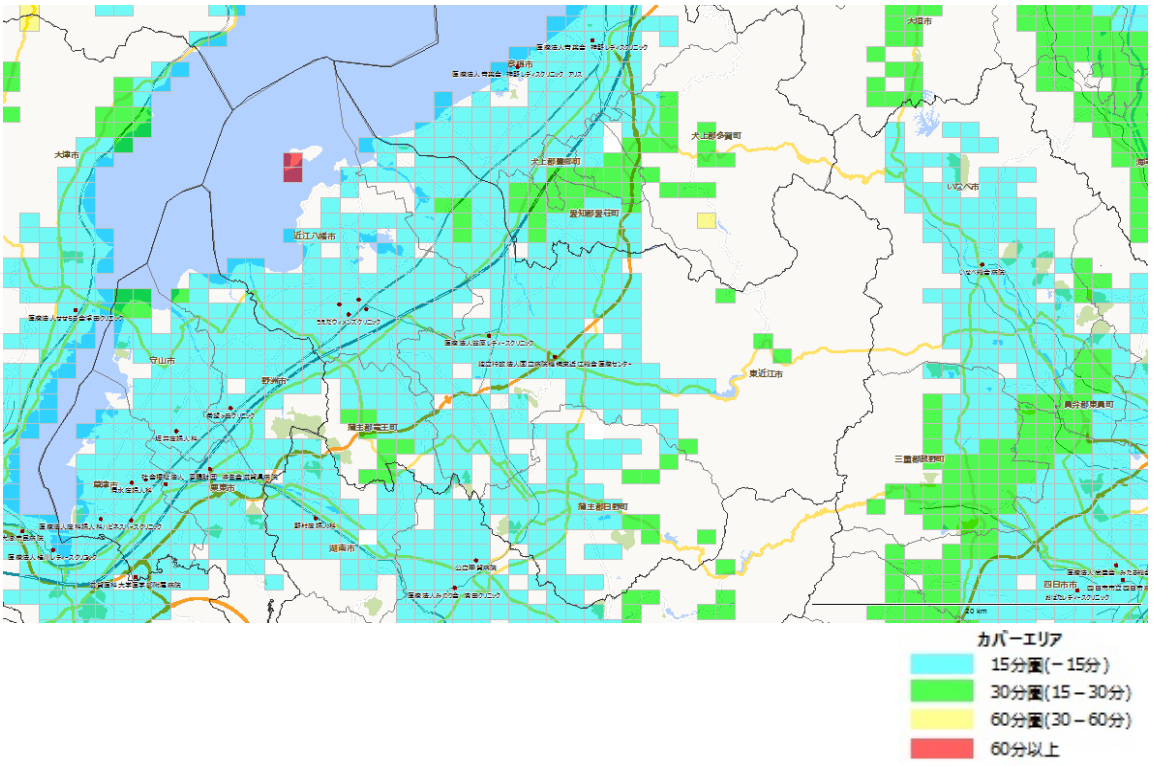
（東近江医療圏）　3.　医療密度・周産期カバーエリア

図表25-4-1　急性期医療密度指数マップ



図表25-4-2　分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

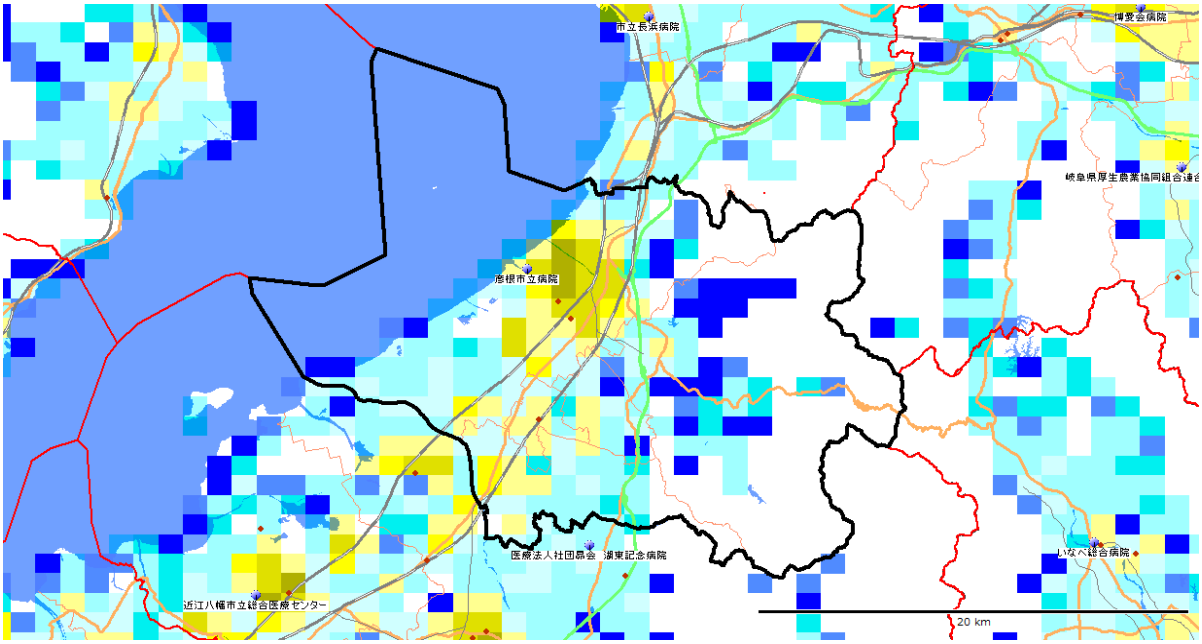


25-5. 湖東(ことう)医療圏

構成市区町村　彦根市　愛荘町　豊郷町　甲良町　多賀町

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（湖東医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 湖東（彦根市）は、総人口約156千人（2015年）、面積392㎢、人口密度は399人/㎢の地方都市型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 湖東の総人口は2025年に155千人へと減少し（2015年比－1％）、2040年に148千人へと減少する（2025年比－5％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の19千人が、2025年にかけて24千人へと増加し（2015年比＋26％）、2040年には26千人へと増加する（2025年比＋8％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 湖東の一人当たり医療費（国保）は338千円（偏差値46）、介護給付費は264千円（偏差値53）であり、医療費はやや低いが、介護給付費はやや高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 湖東の一人当たり急性期医療密度指数は1.04、一人当たり慢性期医療密度指数は0.53で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療はかなり少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が39（病院医師数39、診療所医師数42）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は42と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は44で、一般病床は少ない。全身麻酔数の偏差値は39と少ない。湖東には、年間全身麻酔件数が1000例以上の彦根市立病院（Ⅲ群）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は45と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値42と少なく、回復期病床数は偏差値46とやや少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は41で精神病床数は少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は47で診療所数はやや少ない。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 湖東の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、1,798人（75歳以上1,000人当たりの偏差値45）と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,054床（偏差値46）、高齢者住宅等が744床（偏差値48）である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルである。また、介護職員（介護施設等）の合計は、1,344人（75歳以上1,000人当たりの偏差値43）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設30、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設50、有料老人ホーム43、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム45、サ高住61である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値37と少なく、在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値52と全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、186人（75歳以上1,000人当たりの偏差値44）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－38％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（湖東医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

湖東医療圏の総人口は、2005年153,174人が、2015年に156,273人と2%増加し、2025年の人口が155,409人と予測され、2005年→2025年の間に1%程度の増加が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に12%増加し、2015年から2025年にかけて7%程度の増加が予測される。

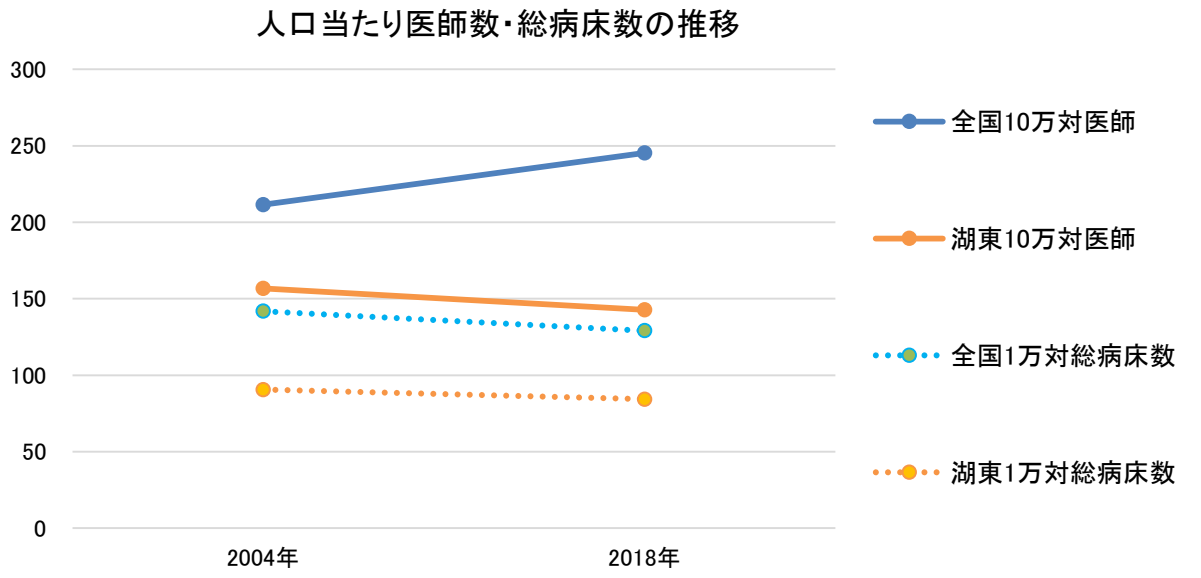
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4（人口10万人当たり2.6病院（全国平均7.1）偏差値38）であったが、2018年に4（人口10万人当たり2.6病院（全国平均6.6）偏差値40）となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が90（人口10万人当たり59診療所（全国平均76）偏差値41）であったが、2018年に117（人口10万人当たり75診療所（全国平均80）偏差値47）と、27診療所が増加した。

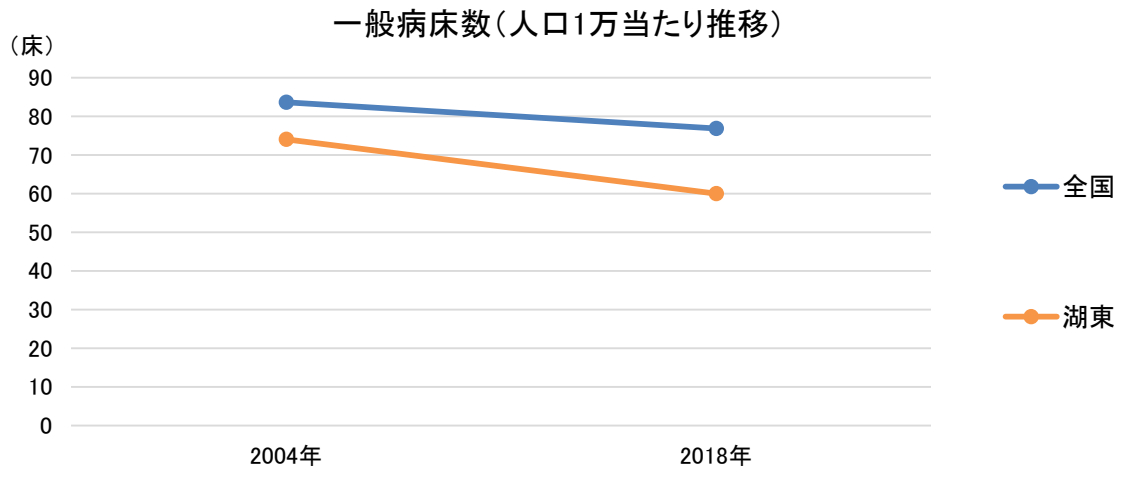
2004年の総病床数が1,388床（人口1万人当たり91（全国平均142）偏差値41）であったが、2018年に1,317床（人口1万人当たり84（全国平均129）偏差値42）と、71床の減少、率にして5%の減少（全国平均9%の減少）が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が240人（人口10万人当たり157人（全国平均212人）偏差値43）であったが、2018年に223人（人口10万人当たり143人（全国平均245人）偏差値39）と、17人の減少、率にして7%の減少（全国平均15%の増加）が見られた。



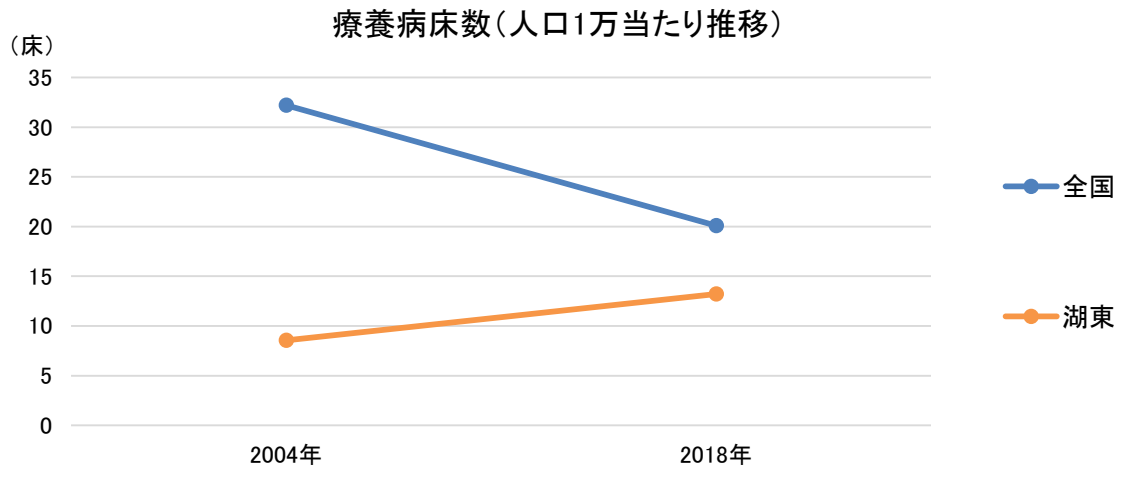
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が1,134床（人口1万人当たり74（全国平均84）偏差値47）であったが、2018年に938床（人口1万人当たり60（全国平均77）偏差値43）と、196床の減少、率にして17％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



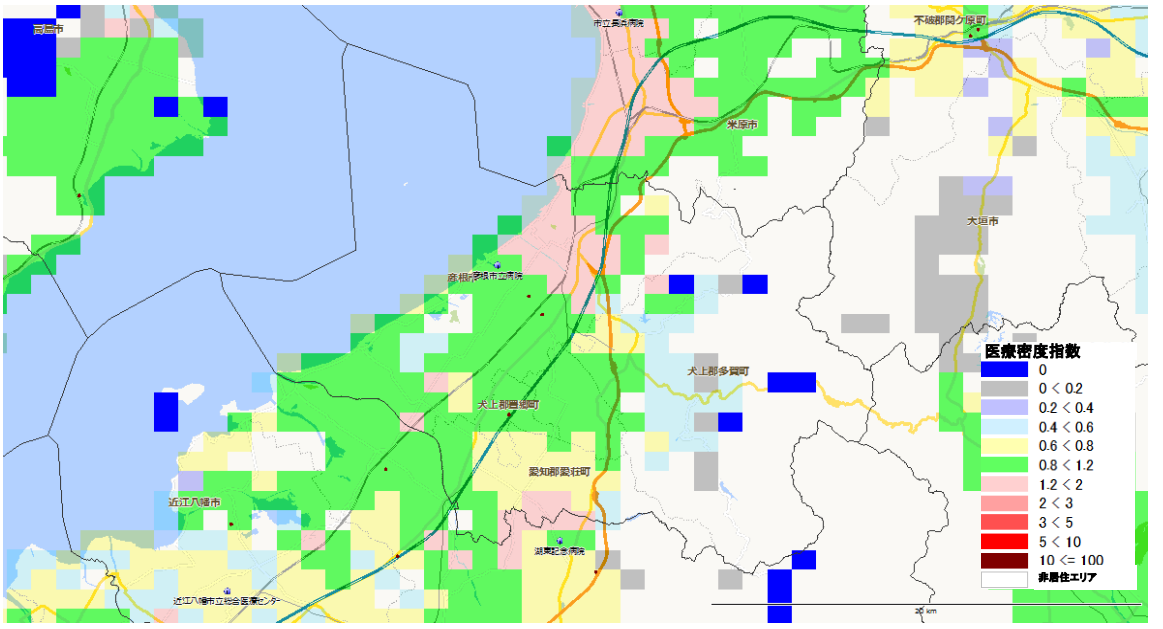
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が120床（75歳以上1,000人当たり9（全国平均32）偏差値37）であったが、2018年に245床（75歳以上1,000人当たり13（全国平均20）偏差値44）と、125床の増加、率にして104％の増加（全国平均12％の減少）が見られた。



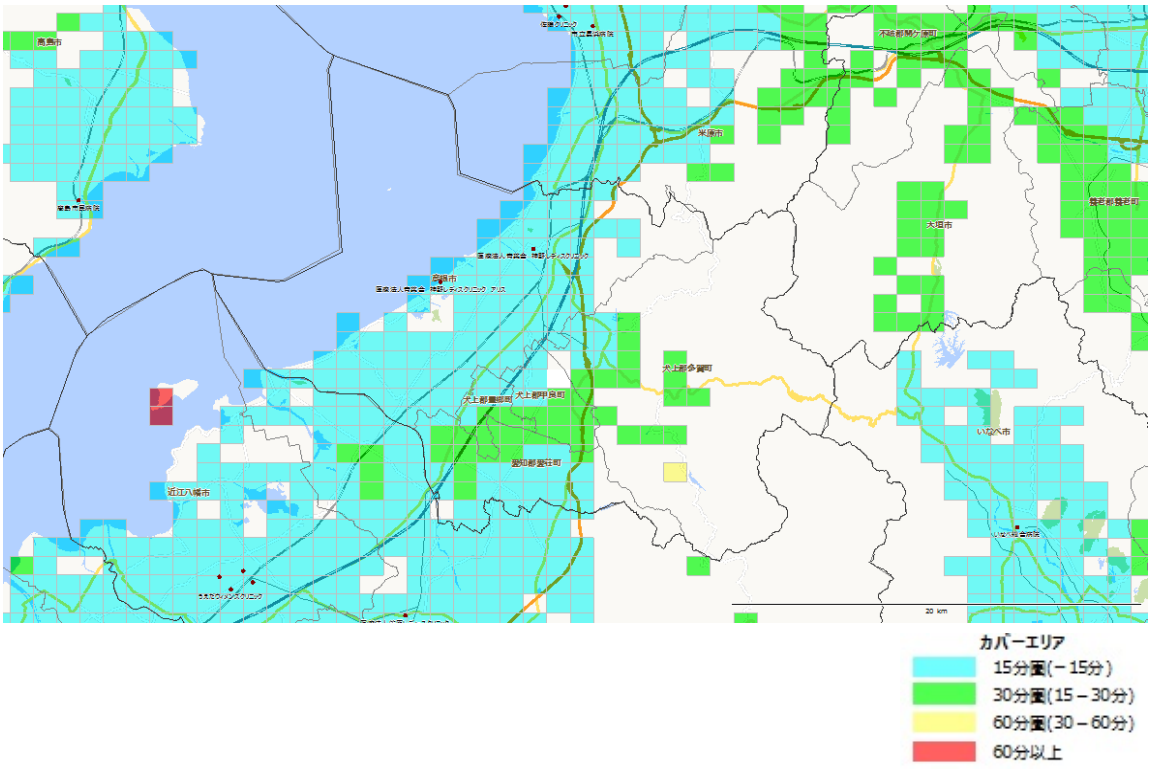
（湖東医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-5-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

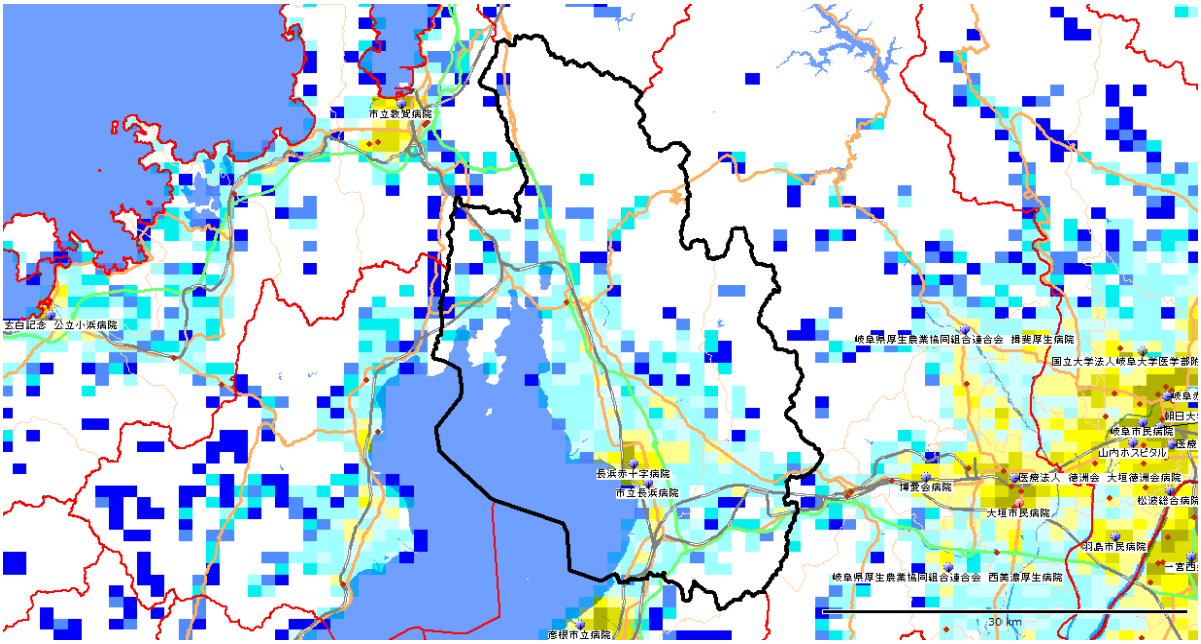


25-6. 湖北(こほく)医療圏

構成市区町村　長浜市　　米原市

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

(湖北医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照: 資料編の図表)

【地域の概要】

＊人口、面積など： 湖北(長浜市)は、総人口約157千人(2015年)、面積931㎢、人口密度は168人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 湖北の総人口は2025年に146千人へと減少し(2015年比－7%)、2040年に127千人へと減少する(2025年比－13%)ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の22千人が、2025年にかけて26千人へと増加し(2015年比＋18%)、2040年には26千人とほぼ変わらない(2025年比±0%)ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 湖北の一人当たり医療費(国保)は360千円(偏差値51)、介護給付費は289千円(偏差値60)であり、医療費は全国平均レベルであるが、介護給付費は高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 湖北の一人当たり急性期医療密度指数は1.08、一人当たり慢性期医療密度指数は0.72で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が44(病院医師数44、診療所医師数45)と、総医師数、病院医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は50と全国平均レベルである。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は48で、一般病床は全国平均レベルである。全身麻酔数の偏差値は46とやや少ない。湖北には、年間全身麻酔件数が1000例以上の市立長浜病院（Ⅲ群）、長浜赤十字病院（Ⅲ群・救命）がある。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は43と療養病床数は少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値41と少なく、回復期病床数は偏差値43と少ない。

＊精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は45で精神病床数はやや少ない。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 湖北の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,668人(75歳以上1,000人当たりの偏差値32)と全国平均レベルを大きく下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,357床(偏差値50)、高齢者住宅等が311床(偏差値31)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1,650人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設46、特別養護老人ホーム56、介護療養型医療施設なし(偏差値42)、有料老人ホームなし(偏差値36)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム45、サ高住36である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値47とやや少なく、在宅療養支援病院は偏差値44と少ない。また、訪問看護ステーションは偏差値65と多い。介護職員(在宅)の合計は、220人(75歳以上1,000人当たりの偏差値44)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－40%であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

（湖北医療圏） 2. 推移

【人口と医療需要】

湖北医療圏の総人口は、2005年165,507人が、2015年に156,912人と5%減少し、2025年の人口が145,904人と予測され、2005年→2025年の間に12%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に4%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

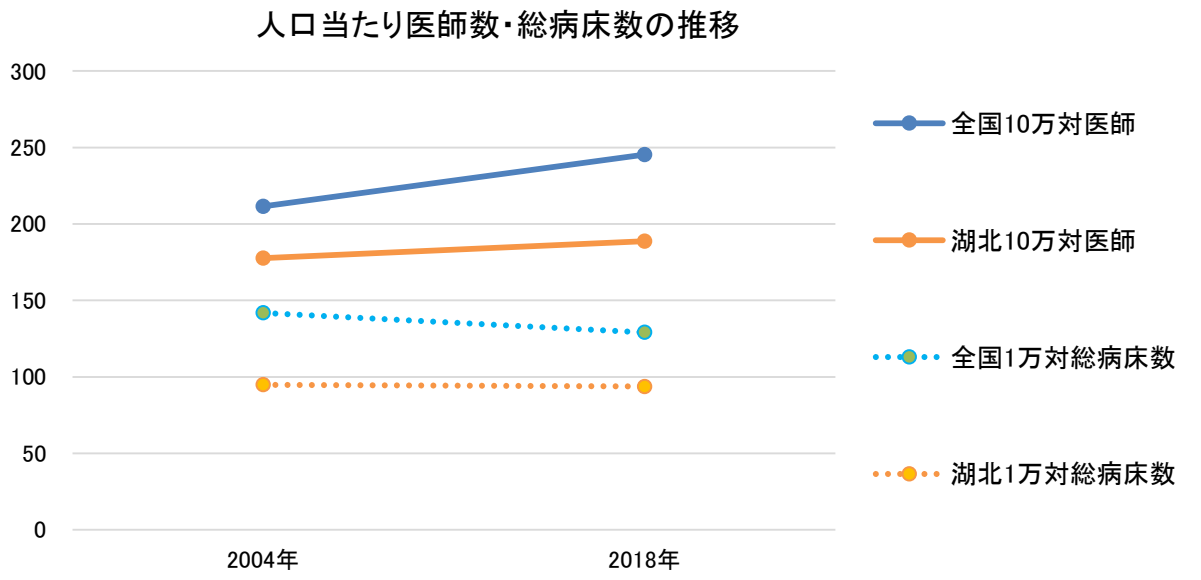
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が4(人口10万人当たり2.4病院(全国平均7.1)偏差値38)であったが、2018年に4(人口10万人当たり2.5病院(全国平均6.6)偏差値40)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が103(人口10万人当たり62診療所(全国平均76)偏差値43)であったが、2018年に121(人口10万人当たり77診療所(全国平均80)偏差値48)と、18診療所が増加した。

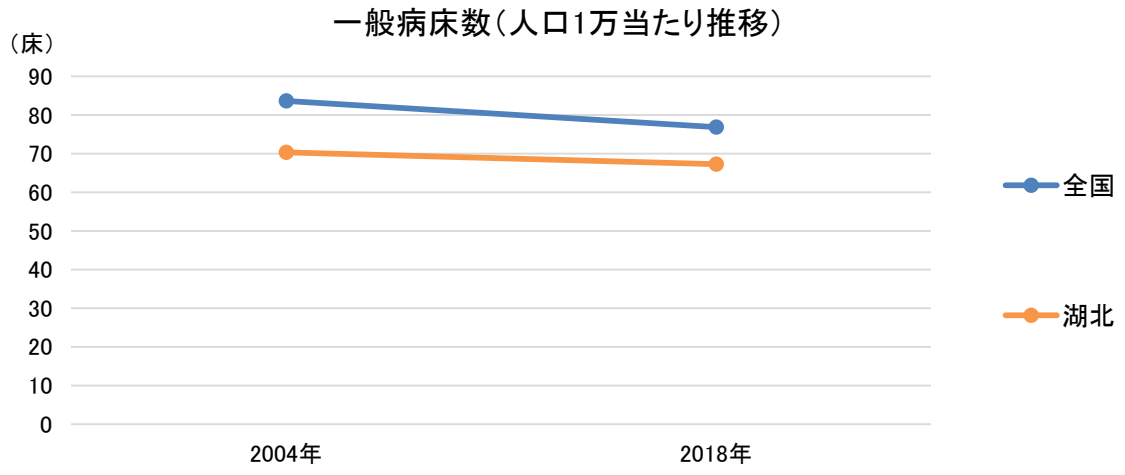
2004年の総病床数が1,570床(人口1万人当たり95(全国平均142)偏差値42)であったが、2018年に1,470床(人口1万人当たり94(全国平均129)偏差値43)と、100床の減少、率にして6%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が294人(人口10万人当たり178人(全国平均212人)偏差値46)であったが、2018年に296人(人口10万人当たり189人(全国平均245人)偏差値44)と、2人の増加、率にして1%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



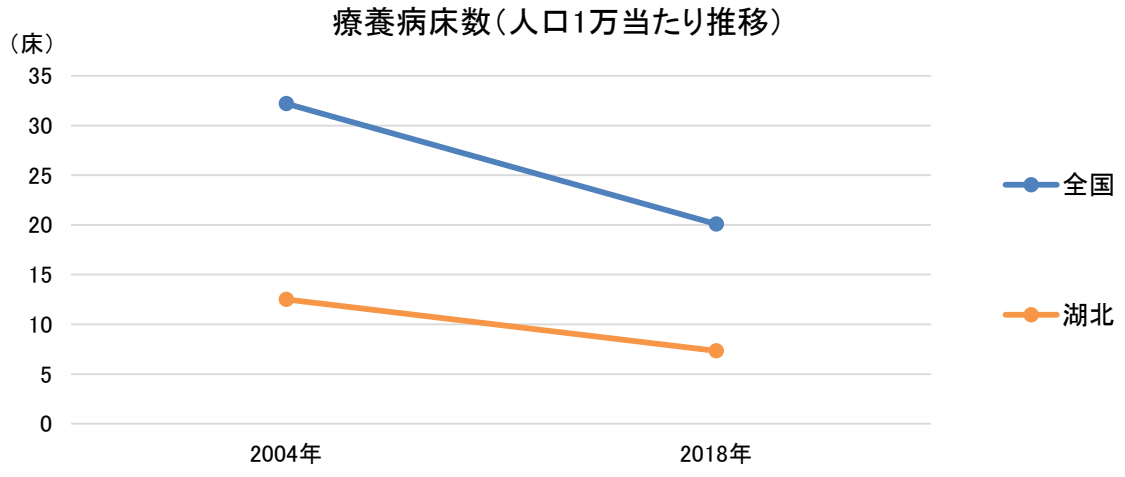
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が1,164床（人口1万人当たり70（全国平均84）偏差値45）であったが、2018年に1,056床（人口1万人当たり67（全国平均77）偏差値46）と、108床の減少、率にして9％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



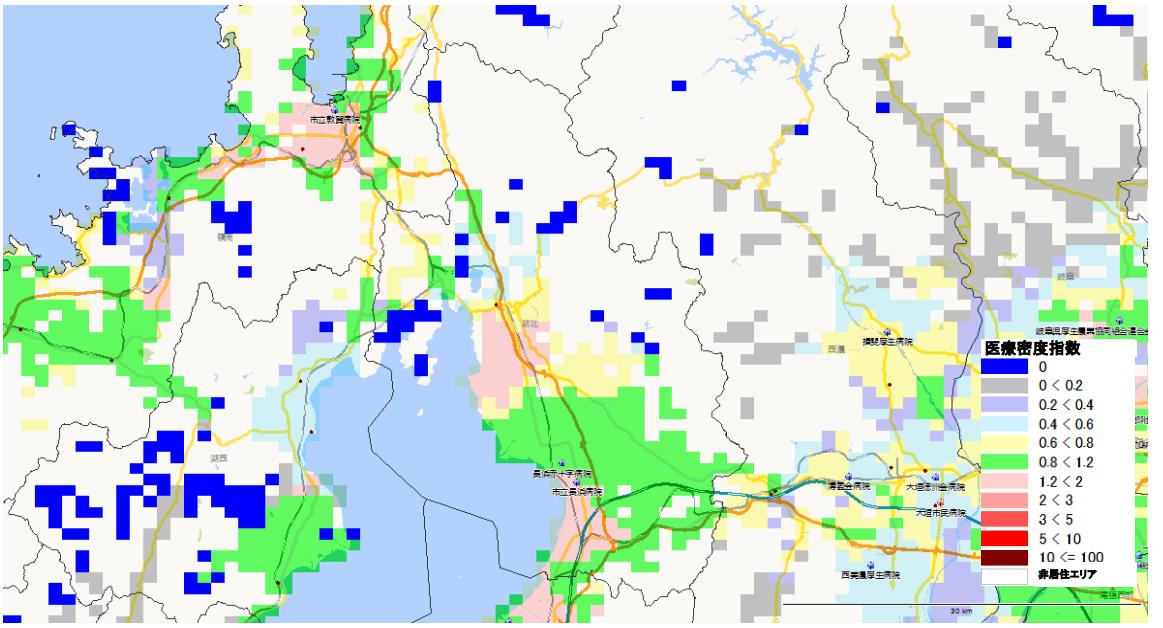
【療養病床の推移】

2004年の療養病床（病院＋診療所）が227床（75歳以上1,000人当たり12（全国平均32）偏差値39）であったが、2018年に161床（75歳以上1,000人当たり7（全国平均20）偏差値38）と、66床の減少、率にして29％の減少（全国平均12％の減少）が見られた。



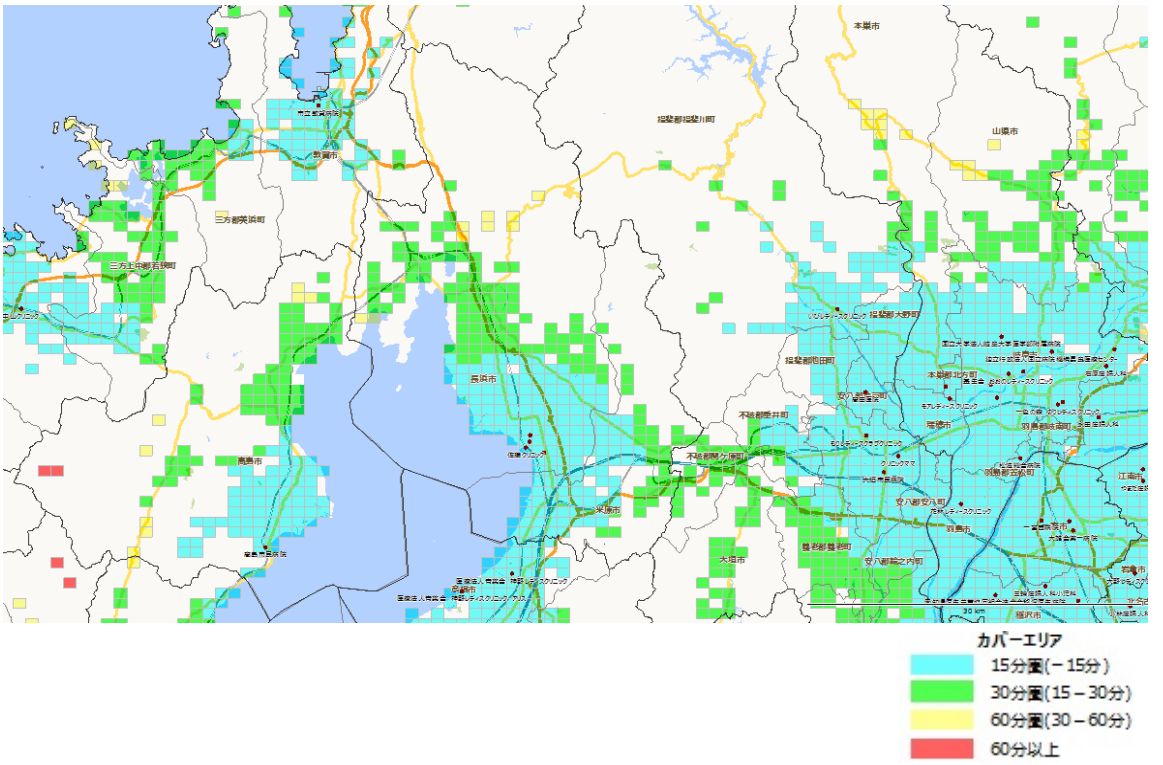
（湖北医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-6-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））

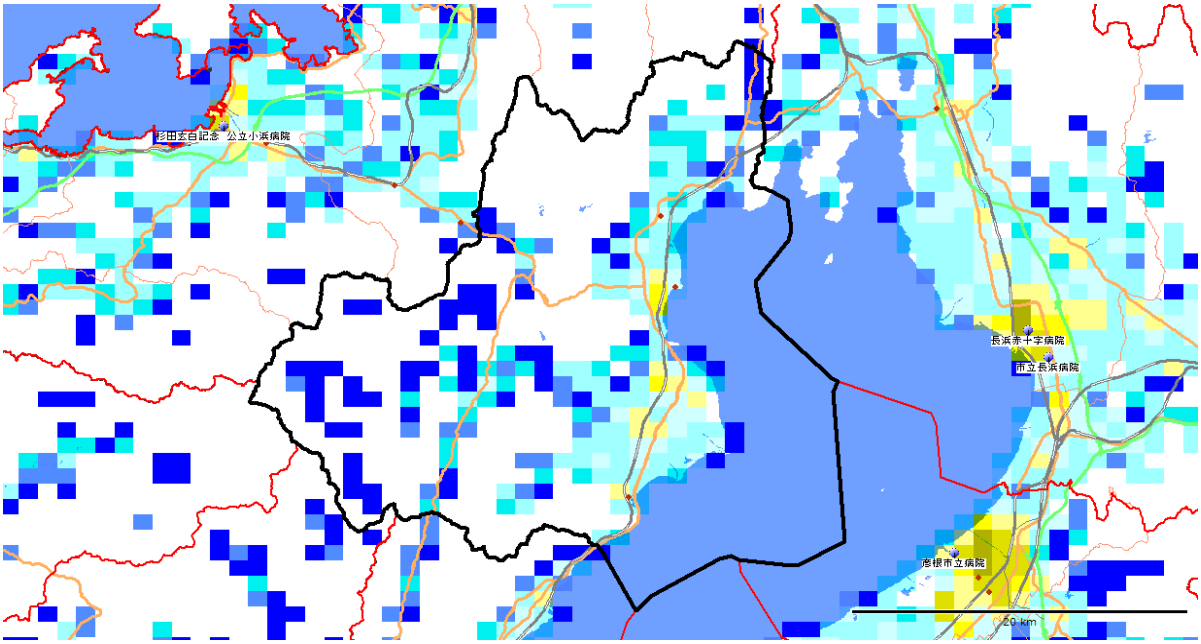


25-7. 湖西(こせい)医療圏

構成市区町村　高島市

※日本医師会JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報を参照可能
http://jmap.jp/　ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

人口分布（1㎢区画単位）



1㎢区画（1㎢メッシュ）で分割した各区画内の居住人口。
赤色系統は人口が多く（10,000人/㎢以上）、黄色系統は中間レベル（1,000～10,000人/㎢）、青色系統は人口が少ない（1,000人/㎢未満）。白色は非居住地。
出所：国勢調査（平成22年、総務省）地図情報GIS Market Analyzer ver.3.7　地図　PAREAシリーズ

区画内人口(1平方キロ)
- 0
- 0 < 20
- 20 < 50
- 50 < 100
- 100 < 500
- 500 < 1000
- 1000 < 2000
- 2000 < 3000
- 3000 < 5000
- 5000 < 10000
- 10000 < 15000
- 15000 < 20000
- 20000 <= 35000

DPC病院
- Ⅰ群
- Ⅱ群
- Ⅲ群
- 一般病院

（湖西医療圏） 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

（参照： 資料編の図表）

【地域の概要】

＊人口、面積など： 湖西（高島市）は、総人口約50千人（2015年）、面積693㎢、人口密度は72人/㎢の過疎地域型二次医療圏である。

＊人口の将来予測： 湖西の総人口は2025年に45千人へと減少し（2015年比－10％）、2040年に36千人へと減少する（2025年比－20％）ことが予想される。一方、75歳以上人口は、2015年の8千人が、2025年にかけて10千人へと増加し（2015年比＋25％）、2040年には10千人とほぼ変わらない（2025年比±0％）ことが予想される。

＊医療費と介護給付費： 湖西の一人当たり医療費（国保）は367千円（偏差値53）、介護給付費は264千円（偏差値53）であり、医療費、介護給付費ともにやや高い。

【医療の現状】

＊入院医療の充実度： 湖西の一人当たり急性期医療密度指数は0.54、一人当たり慢性期医療密度指数は0.79で、急性期の医療はかなり少ないが、慢性期の医療は少ない。

＊医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が42（病院医師数43、診療所医師数42）と、総医師数、病院医師数、診療所医師数はともに少ない。総看護師数の偏差値は40と少ない。

＊一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は46で、一般病床はやや少ない。全身麻酔数の偏差値は41と少ない。湖西には、年間全身麻酔件数が500例以上の病院はない。

＊療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は47と療養病床数はやや少ない。

＊リハビリの現状： 総療法士数は偏差値55とやや多く、回復期病床数は偏差値54とやや多い。

＊精神病床の現状： 精神病床数は0である。

＊診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は48で診療所数は全国平均レベルである。

【介護施設や在宅ケアの現状】

＊介護施設の現状： 湖西の総高齢者施設・住宅定員数（介護療養病床含む）合計は、669人（75歳以上1,000人当たりの偏差値35）と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が500床（偏差値49）、高齢者住宅等が169床（偏差値35）である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。また、介護職員（介護施設等）の合計は、661人（75歳以上1,000人当たりの偏差値50）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設44、特別養護老人ホーム55、介護療養型医療施設なし（偏差値42）、有料老人ホームなし（偏差値36）、軽費ホームなし（偏差値43）、グループホーム45、サ高住44である。

＊在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値54とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値70と非常に多い。また、訪問看護ステーションは偏差値45とやや少ない。介護職員（在宅）の合計は、63人（75歳以上1,000人当たりの偏差値39）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを下回る。

＊介護の2025年の需要予測： 2025年の介護充足度指数は－40％であり、2025年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

(湖西医療圏)　2.　推移

【人口と医療需要】

湖西医療圏の総人口は、2005年53,950人が、2015年に50,025人と7%減少し、2025年の人口が44,616人と予測され、2005年→2025年の間に17%程度の減少が予測されている。

医療の需要（医療費ベース）は、2005年から2015年に5%増加し、2015年から2025年にかけてほぼ増減なしと予測される。

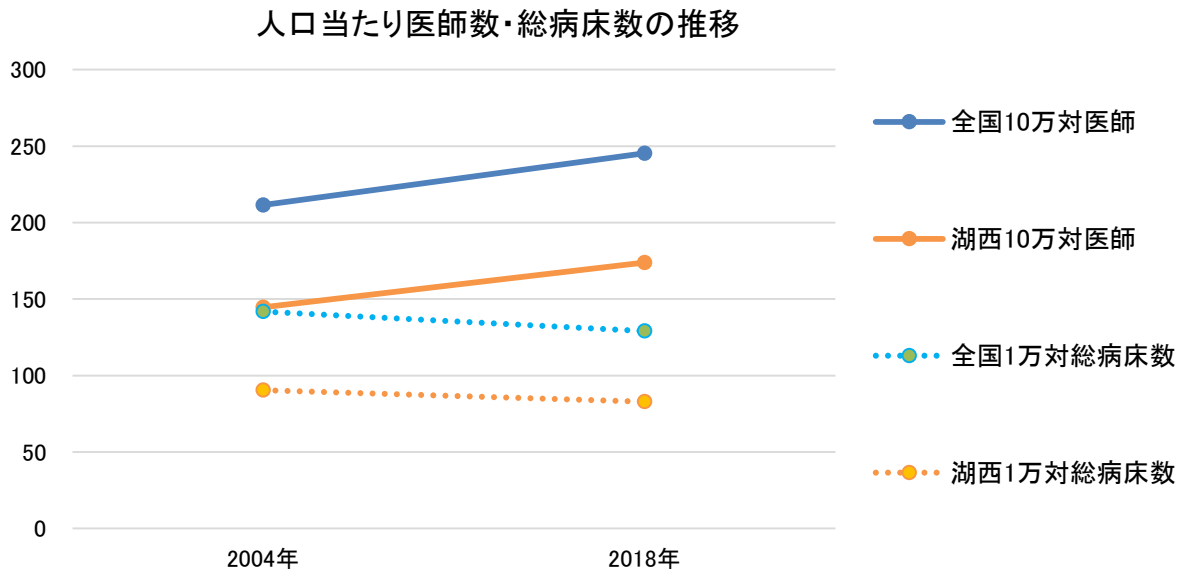
【病院数、診療所数、総病床数、医師数の推移】

2004年の病院数が3(人口10万人当たり5.6病院(全国平均7.1)偏差値46)であったが、2018年に3(人口10万人当たり6病院(全国平均6.6)偏差値49)となり、14年間で増減がなかった。

2004年の診療所数が42(人口10万人当たり78診療所(全国平均76)偏差値51)であったが、2018年に38(人口10万人当たり76診療所(全国平均80)偏差値48)と、4診療所が減少した。

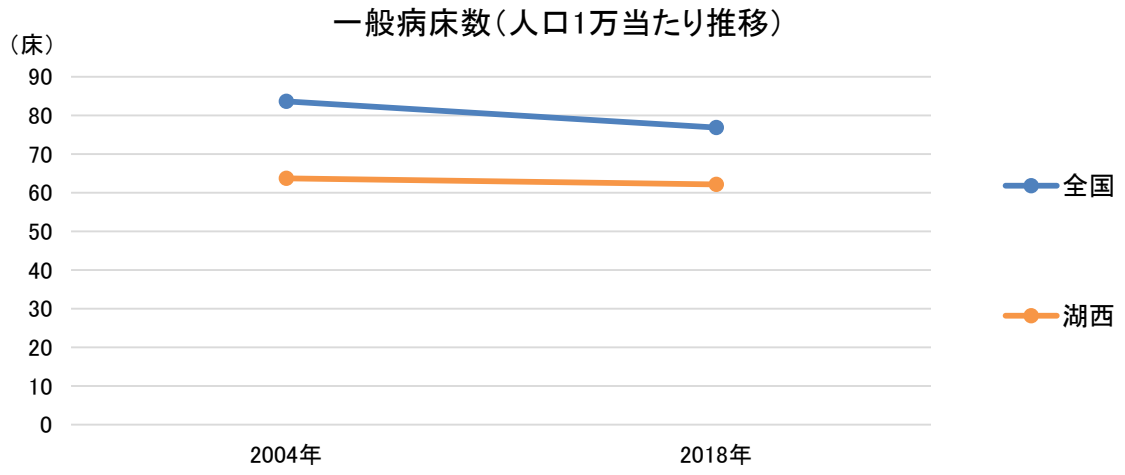
2004年の総病床数が488床(人口1万人当たり90(全国平均142)偏差値41)であったが、2018年に415床(人口1万人当たり83(全国平均129)偏差値41)と、73床の減少、率にして15%の減少(全国平均9%の減少)が見られた。

2004年には病院と診療所合わせての総医師数が78人(人口10万人当たり145人(全国平均212人)偏差値42)であったが、2018年に87人(人口10万人当たり174人(全国平均245人)偏差値42)と、9人の増加、率にして12%の増加(全国平均15%の増加)が見られた。



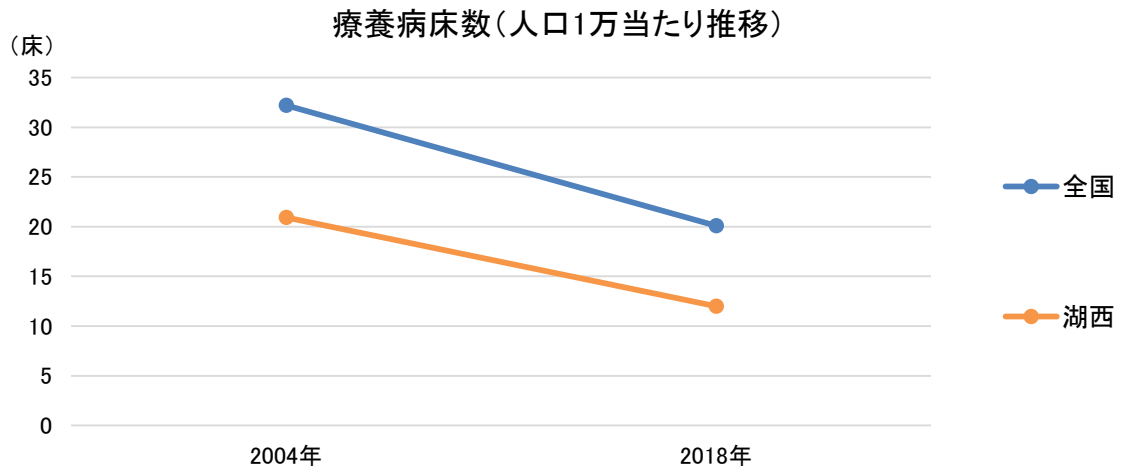
【一般病床の推移】

2004年の一般病床（病院＋診療所）が344床（人口1万人当たり64（全国平均84）偏差値43）であったが、2018年に311床（人口1万人当たり62（全国平均77）偏差値44）と、33床の減少、率にして10％の減少（全国平均9％の減少）が見られた。



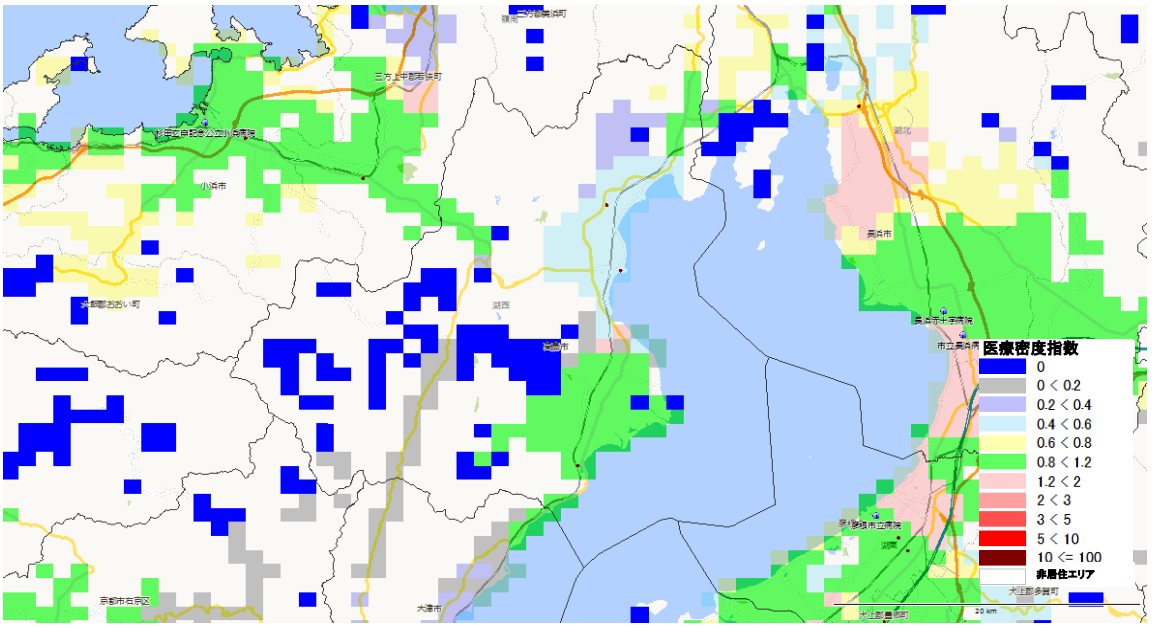
【療養病床の推移】

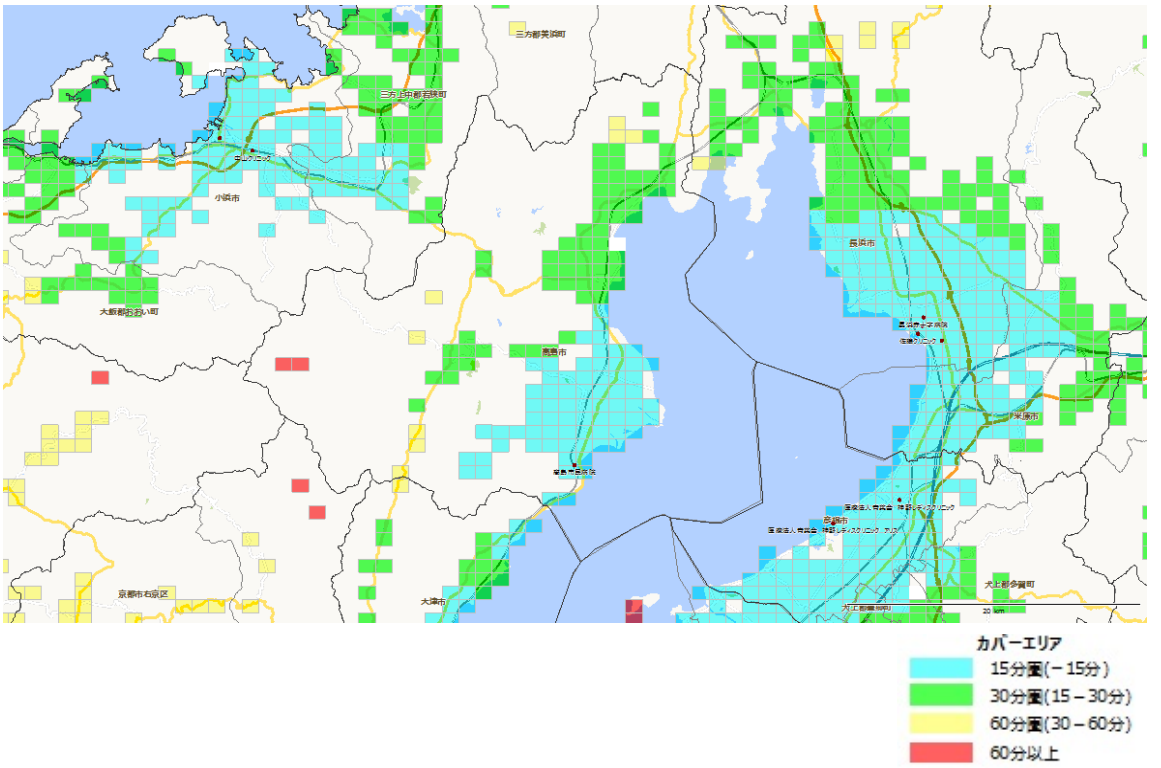
2004年の療養病床（病院＋診療所）が140床（75歳以上1,000人当たり21（全国平均32）偏差値44）であったが、2018年に100床（75歳以上1,000人当たり12（全国平均20）偏差値43）と、40床の減少、率にして29％の減少（全国平均12％の減少）が見られた。



（湖西医療圏） 3. 医療密度・周産期カバーエリア

図表25-7-1 急性期医療密度指数マップ



図表25-7-2 分娩医療機関への所用運転時間（カバーエリア）

※全国1km²メッシュから最寄りの分娩取扱医療機関（病院と有床診療所）への運転時間を計算し、1km²メッシュの出生数との加重平均を用いて、市町村の平均運転時間を集計したもの（「地域の医療提供体制の現状 － 都道府県別・二次医療圏別データ集 －（2017年度版）序章参照（日医総研WP no.400））